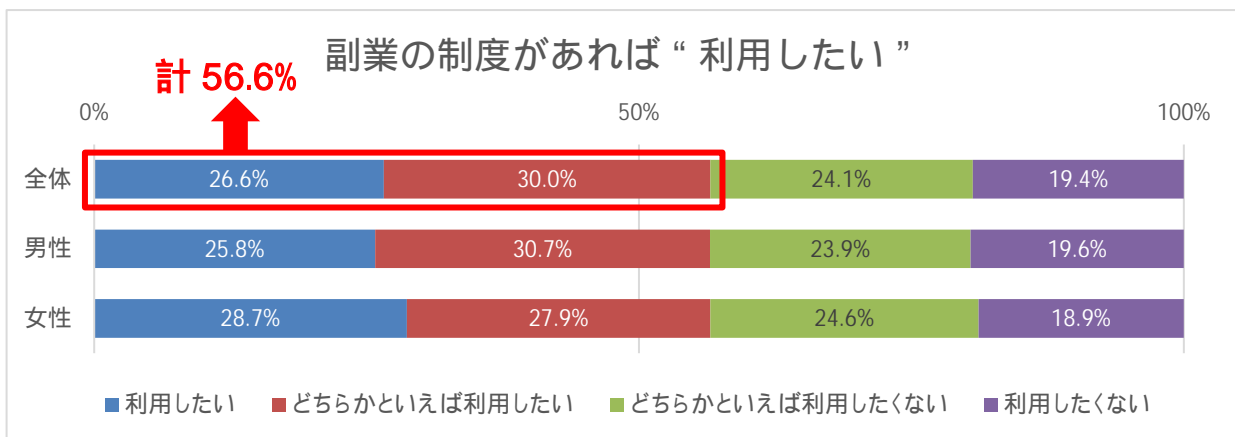


2018年度

新入社員の会社生活調査

注目データ

- ・ 副業の制度があれば「利用したい」... 56.6%



- ・ 将来の年金は老後の収入として「期待できない」... 62.2%
- ・ メッセージアプリを「業務でも使いたい」... 50.7%
- ・ “課長以上”を志向する女性 4割超（2000年度以降最高）
 - a 「課長クラス」15.6%（昨年度より倍増）

学校法人産業能率大学（東京都世田谷区）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「２０１８年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

調査は３月２９日から４月１１日まで、本学の産能マネジメントスクールが開催する「新入社員セミナー」に参加した１０９社４４５人の新入社員を対象に実施し、４４５人（男性３２３人・女性１２２人）から有効回答を得ました。

本調査は１９９０年度から「新入社員の会社生活調査」として継続して実施しています。

全体総括

働き方改革の一環として「副業」に対する関心が高まっています。今年度の新入社員に会社に副業が可能な制度があった場合、利用したいかどうかを尋ねたところ、半数以上の約５７％が“利用したい”（「利用したい」＋「どちらかといえば利用したい」）と回答しました。同様に利用したいかを尋ねた「テレワーク」や「時差出勤」を望む声も多く、新入社員の働き方に対する多様なニーズがみてとれます。

また、将来の年金を老後の収入として期待しているかを聞くと、「期待していない」と「どちらかといえば期待していない」をあわせると約６２％が期待していないと回答しました。

昨年度の調査で約９９％が代表的なメッセージアプリであるＬＩＮＥを使っていることがわかりましたが、このＬＩＮＥなどを業務においても使いたいかでは、「使用したい」が５０．７％、「使用したくない」が４９．３％とほぼ二分されました。

「使用したい」と回答した人のうち、約８２％が「社内のスケジュール調整」に使用したいとしています。また、「遅刻の連絡」（約５９％）や「欠勤の連絡」（約４６％）についてもメッセージアプリを使用したいと回答しました。

一方、「使用したくない」と回答した人の理由としては、「プライベートで使うものだと思っているから」が約８３％、「相手に失礼だと思ってしまうから」が約４４％となっています。

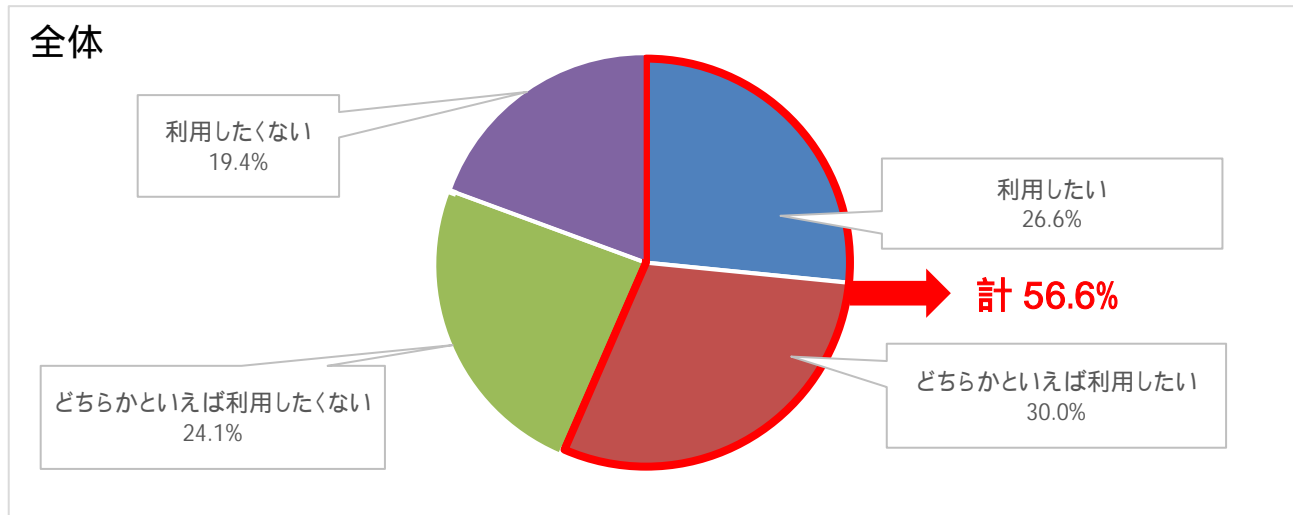
目標とする役職・地位については、特に女性に管理職志向が見られました。“課長以上”（社長、役員、部長、課長）を目指す女性新入社員は２０００年度以降初めて４割を超え（４１．１％）なかでも「課長クラス」は１５．６％（前年比＋８．２ポイント）で２０００年度以降最高となりました。２０００年度には約７５％いた「地位には関心がない」とする女性は、約５７％に減少しました。

目次

注目データ・・・	P. 2	～	P. 3
調査概要・・・	P. 4		
調査結果・・・	P. 5	～	P. 11
データ集・・・	P. 12	～	P. 37

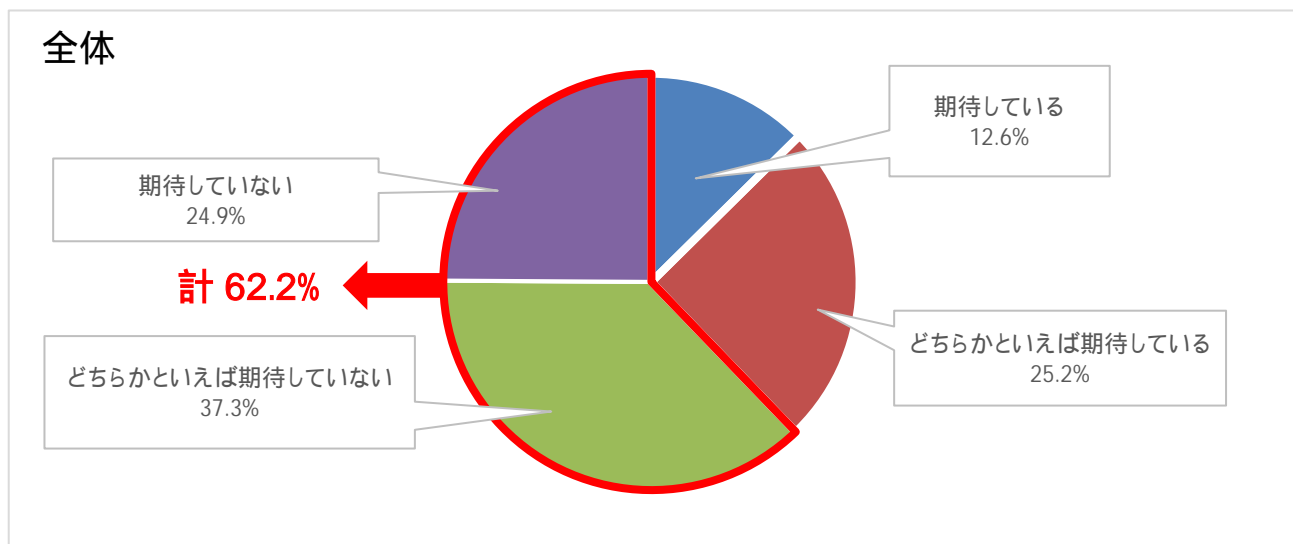
注目データ

“ 副業 ” ができる制度「利用したい」 約 57 %



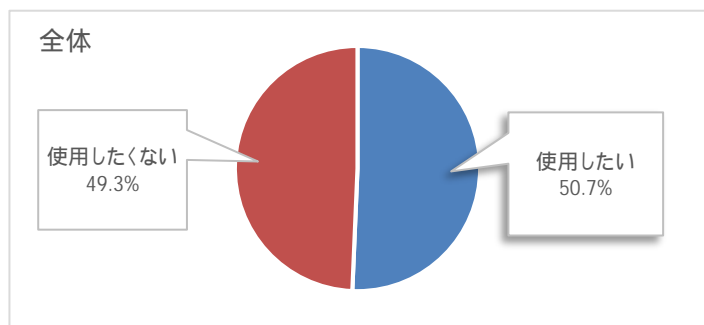
会社に副業ができる制度があった場合、利用したいかを尋ねると、「利用したい」が26.6%、「どちらかといえば利用したい」が30.0%となりました。働き方が多様化する中、過半数の56.6%が副業制度を利用したいと回答しています。

“ 将来の年金 ” は老後の収入として「期待できない」 約 62 %



少子高齢化が急速に進む社会にあって、現役世代と年金受給者世代が2025年には2：1になると予想されています。こうした問題が背景にある中、将来支給される年金（国民年金・厚生年金等）について、老後の収入として期待しているかを尋ねると、「どちらかといえば期待していない」が37.3%で最も多くなりました。さらに「期待していない」とあわせると62.2%が期待していないと回答しました。

メッセージアプリを「業務でも使いたい」 約 51%



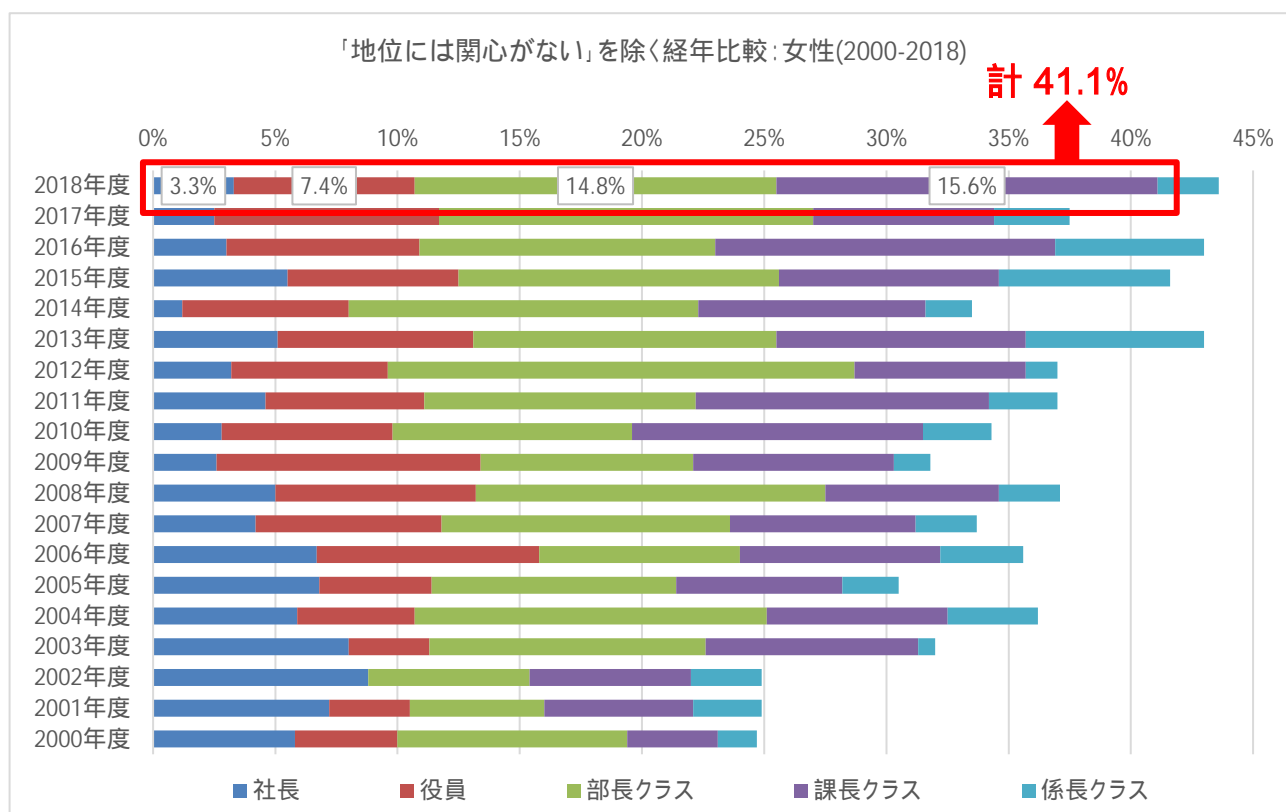
近年の新入社員のほぼ全員が使っているLINEなどのメッセージアプリの業務使用について、「使用したい」が50.7%、「使用したくない」が49.3%とほぼ二分されました。男女別でみると、男性は「使用したい」が52.3%、女性は「使用したくない」が

53.7%でそれぞれ過半数となり、男女でメッセージアプリの使用志向に違いがみられます。

使用したい場合、使用してもよいと思うものは全体で「スケジュールの調整（社内）」が82.2%、「遅刻の連絡」が58.7%、「打ち合わせ（社内）」が46.2%、そして「欠勤の連絡」が45.8%と続きます。

業務で使いたくない理由は、「プライベートで使うものだと思っているから」が83.1%で男女ともほぼ同数で最多となっています。次に「相手に失礼だと思ふから」（44.3%）、「アカウントを知られたくないから」（35.2%）が続きます。

“課長以上”を目指す女性 2000年度以降初めて4割超



目標とする役職・地位を尋ねると、“課長以上”（社長、役員、部長、課長）を目指す女性が41.1%となり、2000年度以降初めて4割を超えました。なかでも「課長クラス」が昨年度より8.2ポイント増加した15.6%で2000年度以降最高となりました。一方、「地位には関心がない」が56.6%と2000年度以降最低となったことから、女性の管理職に対する意欲が高まっている様子がうかがえます。

調査概要

1. 調査対象 産能マネジメントスクール主催の新入社員セミナー参加者のうち
109社445人

2. 調査時期 2018年3月29日～4月11日

3. 調査方法 書面アンケートによる回答肢選択方式

4. 有効回答 445人
(男性323人・72.6% / 女性122人・27.4%)

5. 所属企業プロフィール

(従業員数)	100人未満	67人	(15.1%)
	100人以上 500人未満	240人	(53.9%)
	500人以上 1,000人未満	94人	(21.1%)
	1,000人以上	44人	(9.9%)
		445人	(100.0%)
(上場区分)	上場企業	130人	(29.2%)
	非上場企業	290人	(65.2%)
	企業以外の法人・団体	24人	(5.4%)
	未回答	1人	(0.2%)
		445人	(100.0%)
(企業所在地)	北海道	0人	(0.0%)
	東北	5人	(1.1%)
	関東	374人	(84.0%)
	中部	19人	(4.3%)
	近畿	41人	(9.2%)
	中国	2人	(0.4%)
	四国	1人	(0.2%)
	九州	2人	(0.4%)
	その他	1人	(0.2%)
		445人	(100.0%)

2018年度 新入社員の会社生活調査
調 査 結 果

1 . 就職活動について

- ・就職活動「大変だった」 4年連続減少
- ・就職の結果には「満足」 過去最高に

1 - 1 . 就職活動を振り返って

2018年度入社の新入社員に就職活動を振り返ってもらったところ(P.13/問1)「かなり大変だった」は26.5%、「思ったより大変だった」は42.0%で、あわせて68.5%(前年度比-0.6ポイント)が“大変だった”と回答し、2015年度から4年連続で減少しました。売り手市場とも言われる近年の就職環境を反映する結果になったと言えます。

一方、『就職活動の満足度』(P.14/問2)については、「たいへん満足」が49.3%、「やや満足」が45.5%であわせて94.8%が“満足”していると回答しました。「たいへん満足」が昨年度より3.4ポイント減少しましたが、「やや満足」は4.2ポイント増加しています。

この設問は1994年度から継続して尋ねていますが、“満足”度は過去最高となっています。

1 - 2 . 就職先選び

『就職先を選ぶ際に重視した点』(P.15/問3)は、「業種」が最も高く58.3%、「職務内容」(51.1%)、「福利厚生」(47.3%)、「給与水準」(38.7%)と続いています。

男女で違いが見られたのは、男性は「企業規模」(女性比+11.4ポイント)、「業績」(女性比+7.8ポイント)などを重視し、女性は「職務内容」(男性比+14.9ポイント)、「転勤の有無」(男性比+14.9ポイント)、「所在地」(男性比+12.1ポイント)などを重視していることがわかりました。

2．仕事観／キャリアについて

- ・働く上で重要なこと 「仕事を通じて自分自身が成長すること」 62 %
- ・働き始めるにあたって不安なこと 「上司・先輩とうまくやっていけるか」 各 67 %
- 「自分の能力で仕事をやっていけるか」

2 - 1．働く上で重要なこと

『働く上で重要だと思うこと』(P. 16 / 問4)は、「仕事を通じて自分自身が成長すること」(61.5 %)が男女とも最も多く、「長期間、安心して働けること」(54.1 %)が続いています。

男女差が大きい項目は、男性は「昇進することやリーダーになること」(女性比 + 11.7 ポイント)で、女性は「仕事に見合う報酬が得られること」(男性比 + 8.1 ポイント)となっています。

2015年度からの経年で比較すると、「仕事を通じて自分自身が成長すること」と「仕事に見合う報酬が得られること」が過去最高で、一方、「職場のメンバーから認められること」は毎年減少しています。

2 - 2．働き始めるにあたって不安なこと

『働き始めるにあたり、不安に思っていること』(P. 17 / 問5)は、「上司・先輩とうまくやっていけるか」と「自分の能力で仕事をやっていけるか」がともに66.6 %で最も多く、続いて「プライベートの時間を確保できるか」(35.7 %)となりました。女性は「自分の能力で仕事をやっていけるか」が72.1 %と最多となっています。

2015年度からの経年で比較すると、「上司・先輩とうまくやっていけるか」は減少し、「自分の能力で仕事をやっていけるか」どうかが増加傾向にあります。また、「自分のやりたい仕事ができるか」は、毎年増加しています。

2 - 3．キャリアについて

『将来の進路としてどのような方向を望むか』(P. 18 / 問6)については、「管理職」が46.8 %、「担当業務のエキスパート」は45.0 %で拮抗しています。

男女別に見ると、男性は「管理職になる」(52.2 %)が最も多くなっています。2010年度以降は50 %台が続いていますが、今年度は2010年度と並び最も少なくなっています。女性では「担当業務のエキスパートとなる」(59.0 %)が最も多いものの、経年でみると2016年度と並んで最低となっています。一方で、「管理職になる」という回答は32.8 %と2016年度(34.9 %)に次いで多くなっており、女性の管理職志向が増えています。これは『目標とする役職・地位』(問8)での回答でも顕著になっています。

2 - 4．転職について

『転職から受けるイメージ』(P. 20 / 問7)について、「キャリアアップ」と「挫折」の二択で回答してもらったところ、「キャリアアップ」が64.2 %、「挫折」が35.8 %となりました。特に女性は75.4 %が「キャリアアップ」と答え、転職を前向きに捉えているようです。全体としては最低だった2016年度(58.4 %)から「キャリアアップ」が増加傾向にあります。

3．規定労働時間外 / 将来について

- ・ 目標とする地位（2000年度以降） 男性「社長」「役員」あわせて36%～過去2番目の低さ
女性“課長以上”41%～最高
- ・ 月の残業時間 「31時間以上でも許容できる」が減少

3 - 1．目標とする地位

『目標とする役職・地位』（P.21 / 問8）については、「社長」（11.0% / 前年比+0.4㊦）、「役員」（17.8% / 前年比-3.9㊦）、「部長クラス」（20.9% / 前年比+0.8㊦）、「課長クラス」（10.3% / 前年比+4.7㊦）、「係長クラス」（2.2% / 前年比-0.7㊦）、「地位には関心がない」（37.8% / 前年比-1.3㊦）となりました。

2000年度からの経年比較でみると、「地位には関心がない」と答えた男性は、2011度には21.9%で最低でしたが、その後は増える傾向にあり、今年度は30.7%となりました。役職にはこだわらない男性が増えているようです。

一方、女性は「地位には関心がない」が56.6%で2000年度以降最低となり、“課長以上”を目指す割合は41.1%と最高となりました。女性管理職を増やす取り組みが社会的に広がりつつある中、女性新入社員の管理職を目指す意欲も高まっています。

3 - 2．許容できる残業時間

『1ヵ月の残業時間は、何時間程度許容できるか』（P.23 / 問9）について、時間単位で選択してもらいました。昨年度と比較すると、「21～30時間」が24.9%から3.6ポイント増加して28.5%となりました。昨年度最多だった「11～20時間」は、今年度は0.7ポイント減少して27.2%でした。

一方、31時間以上の残業を許容する割合（「31～40時間」+「41～50時間」+「51～60時間」+「その他」）はあわせて30.5%で、昨年度より1.4ポイント減少しました。

3 - 3．転勤について

『転勤についてどのように考えているか』（P.24 / 問10）については、「転居を伴う場合でも期間が限定されていれば転勤してもよい」が28.8%で最も多くなりました。そして「一度も転勤せずに同じ場所で働きたい」（27.0%）が続き、昨年度から順位が逆転しています。

続いて「転居の有無、期間に関係なく転勤してもよい」が23.6%、「転居を伴わないのであれば転勤してもよい」が20.5%となりました。

男女別では、男性は「転居を伴う場合でも期間が限定されていれば転勤してもよい」が30.4%（前年比+2.0㊦）、女性は「転居を伴わないのであれば転勤してもよい」が30.3%（前年比+8.7㊦）とそれぞれ増加しています。無条件で転勤OKは男女とも減りました。

4 . 待遇・制度について

- ・『副業』 possible の制度があったら 「利用したい」 57 %
- ・将来の公的年金は “期待していない” 男性 61 % / 女性 66 %
- ・定年について 60 歳を過ぎても働きたい 3 人に 1 人

4 - 1 . 各種制度

『会社に次の制度があった場合、どの程度利用したいか』(P. 25 / 問 11) について、『A. 副業』は全体の 26.6 % が「利用したい」、30.0 % が「どちらかといえば利用したい」をあわせて 56.6 % となり、半数以上の新入社員は副業が可能ならばその制度を利用することに前向きな姿勢であることがわかりました。これは男女ともほぼ同数値となっています。

『B. テレワーク』については、「利用したい」(31.3 %) と「どちらかといえば利用したい」(34.5 %) をあわせた 65.8 % が “利用したい” としています。特に女性は、“利用したい” が 76.2 % と、4 人に 3 人は利用したいと回答しており、男性よりも 14.4 ポイント多くなっています。

『C. 時差出勤』については、「利用したい」(49.2 %)、 「どちらかといえば利用したい」(30.7 %) をあわせた約 8 割が “利用したい” としています。女性は「利用したい」とする回答が 64.5 % に達しています。

4 - 2 . 定年

定年する年齢の引き上げや定年制を廃止する企業が増えている中、『いつまでサラリーマンとして働きたいか』(P. 26 / 問 12) 尋ねたところ、「60 歳」と回答した人が全体の 42.6 % で最多となりました。一方、60 歳を過ぎても働きたいと回答したのは 3 人に 1 人 (34.2 %) に留まりました。

4 - 3 . 退職後

『前問の年代で退職した後にやりたいこと』(P. 27 / 問 13) を尋ねると「趣味の時間を楽しむ」が全体の 83.4 % で、男女とも 8 割を超えています。

次に男性は「資産運用などで生計を立てる」が 25.4 %、「フリーランスで働く」が 14.4 % で続きます。女性では、「専業主夫・主婦として家庭を支える」が 45.9 % で続きますが、「フリーランスで働く」(27.9 % / 男性比 + 13.5 ポイント)、「進学・留学などで学び直しをする」(17.2 % / 男性比 + 8.4 ポイント) の項目が、男性よりも高くなっています。

「まだ決めていない」のは、男性 14.7 %、女性 13.1 % に留まり、男女とも 85 % 以上が何らかの退職後のライフプランがあるようです。

4 - 4 . 公的年金

『将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているか』（P. 28 / 問14）を尋ねたところ、男性の37.8%、女性の36.1%が「どちらかといえば期待していない」とそれぞれ最も多く回答しました。「期待していない」とあわせると男性は61.0%、女性は65.6%が“期待していない”となり、年金制度に対する不安がうかがえます。

4 - 5 . 人事制度

『年功序列と成果主義のどちらを望むか』（P. 29 / 問15）を二者択一で尋ねた結果、「成果主義」が55.4%、「年功序列」が44.6%となりました。

男女別に「成果主義」を見ると、男性は53.6%、女性は60.3%で、女性の方が実力で勝負する成果主義を支持し、昨年度からも3.2ポイント増加しています。この設問を始めた2006年度以降では、2007年度を除き、すべて女性の方が「成果主義」を支持しています。

また、『終身雇用制度を望むか』（P. 31 / 問16）では、「望む」が66.4%、「望まない」が33.6%となりました。これは男女別でもほとんど差がありませんが、「望まない」とする回答は全体の傾向として最低となった2014年度（23.7%）からは次第に増えてきています。これは近年、新入社員が転職をキャリアアップと考えている（問7）ことから終身雇用にはこだわらない様子が見えてきます。

4 - 6 . 理想の年収額

『35歳時点での理想の年収額』（P. 32 / 問17）について、加重平均値を算出したところ、全体では「616万円（6,156,778円）」でした。

男女別に見ると男性は「657万円（6,570,032円）」、女性は「502万円（5,024,018円）」となりました。全体では前年比で約12万円増え、男性が同プラス約6万円、女性は同マイナス約5万円となりました。

５．メッセージアプリの業務使用について

- ・業務で使用したいこと 「社内のスケジュール調整」 82 %
「遅刻の連絡」 59 %
- ・業務で使用したくない理由 「プライベートで使うもの」 83 %
男性：「相手に失礼」 47 %
女性：「アカウントを知られたくない」 42 %
- ・上司からの友達申請 “嫌だ” が 57 % で過去最高に

５－１．メッセージアプリの業務使用

『LINEなどのメッセージアプリを業務でも使用したいか』（P. 33 / 問18）を尋ねると、全体では「使用したい」が50.7%、「使用したくない」が49.3%とほぼ同数となりましたが、男女別で見ると男性は「使用したい」が52.3%、女性は「使用したくない」が53.7%でそれぞれ半数を上回っています。

『【問18で「使用したい」と回答した方へ】業務上、LINEなどで使用してもよいと思うもの』（P. 34 / 問19）は、「スケジュールの調整（社内）」が82.2%、「遅刻の連絡」が58.7%、「打ち合わせ（社内）」が46.2%、そして「欠勤の連絡」が45.8%と続きます。

一方、『【問18で「使用したくない」と回答した方へ】どのような理由で使いたくないか』（P. 34 / 問20）では、「プライベートで使うものだと思っているから」が83.1%で男女ともほぼ同数で最も多くなっています。

男女別に見ると男性は「相手に失礼だと思うから」（47.4% / 女性比+10.5ポイント）が続きます。一方、女性は「アカウントを知られたくないから」（41.5% / 男性比+9ポイント）、「長文を打ちにくい」（30.8% / 男性比+8.1ポイント）、「既読がつくから」（27.7% / 男性比+10.2ポイント）が男性を上回っています。

５－２．上司からのSNS“友達申請”（リクエスト）

『上司からSNSで“友達申請”（リクエスト）があったらどう思うか』（P. 35 / 問21）という問いには、「嫌だ」が22.2%、「どちらかと言えば嫌だ」が34.4%で、あわせて56.6%（前年比+2.3ポイント）となり、“嫌だ”とする回答が2014年度からの調査以来最高となりました。

特に女性は「どちらかと言えば嫌だ」が35.2%、「嫌だ」は27.9%で、あわせて63.1%となり、昨年度よりも0.5ポイント増加しています。

“うれしい”（「うれしい」+「どちらかと言えばうれしい」）、“嫌だ”（「嫌だ」+「どちらかと言えば嫌だ」）とする回答者それぞれに理由を尋ねました。

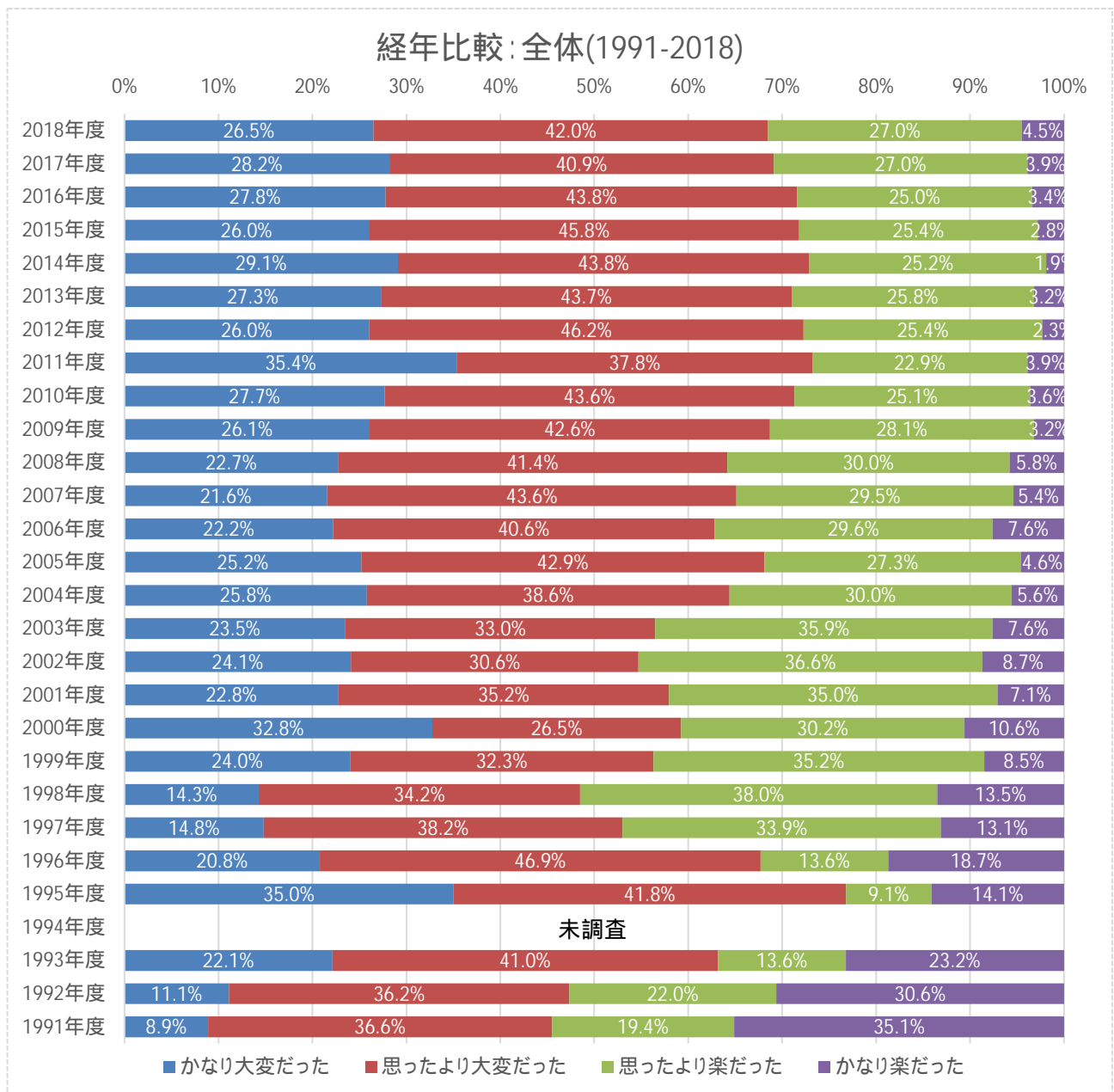
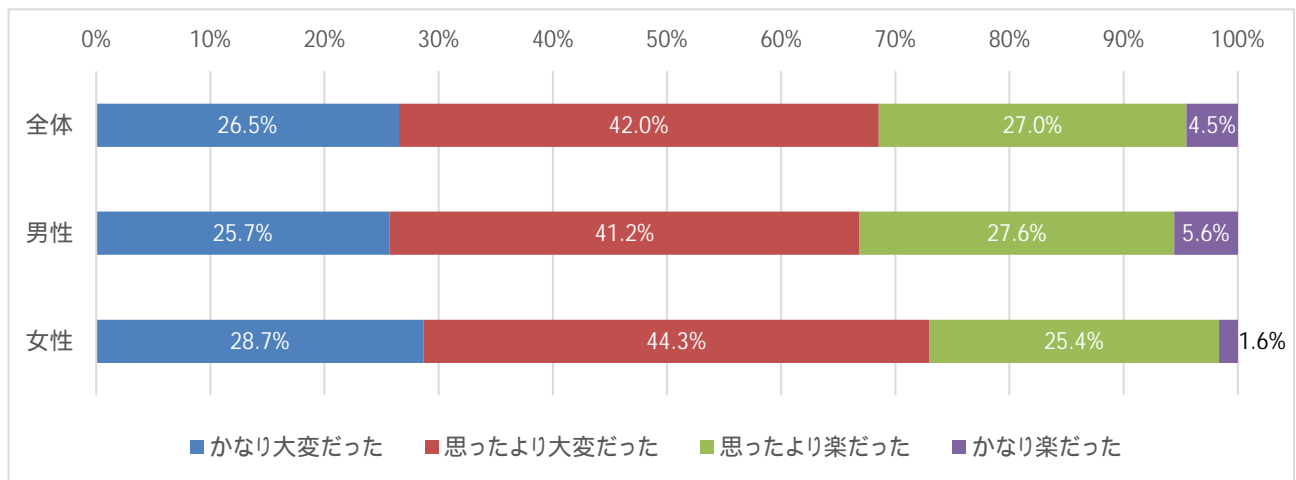
『“うれしい”と思う理由』（P. 36 / 問22）は、「仕事以外で接点を持てるから」（49.5%）が最多で、「信頼されていると思うから」（28.9%）、「業務連絡等に使えるから」（10.0%）と続いています。

一方、『“嫌だ”と思う理由』（P. 37 / 問23）では、「公私は分けたいから」（74.4%）が最も多く、昨年度から1.2ポイント増加し、2014年度からの調査以来最高となっています。

2018年度 新入社員の会社生活調査
デ ー タ 集

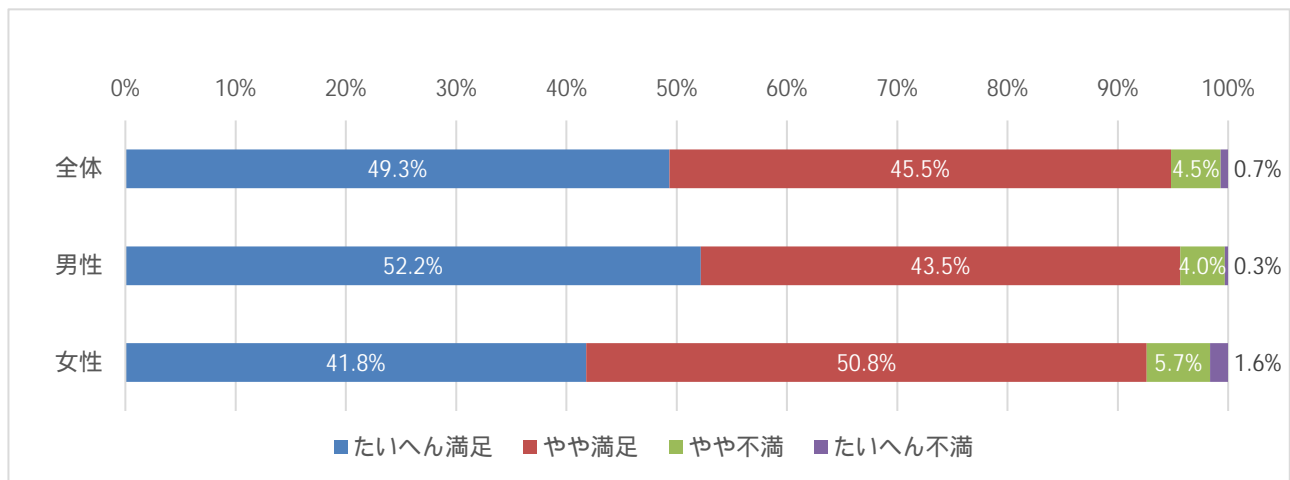
問１． 就職活動を振り返って、どのように感じましたか？

(n=445)

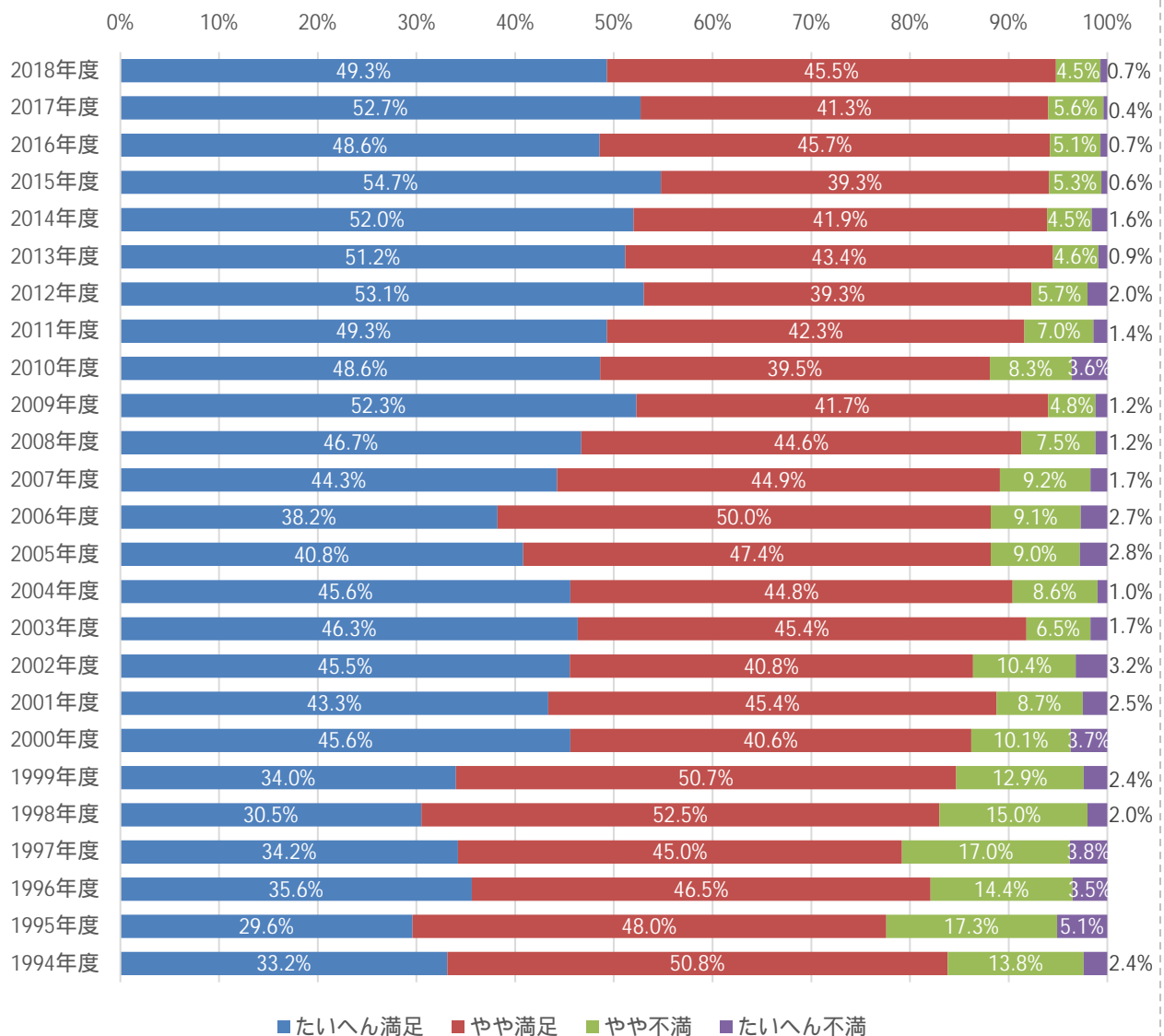


問２．就職活動の結果に満足していますか？

(n=444)

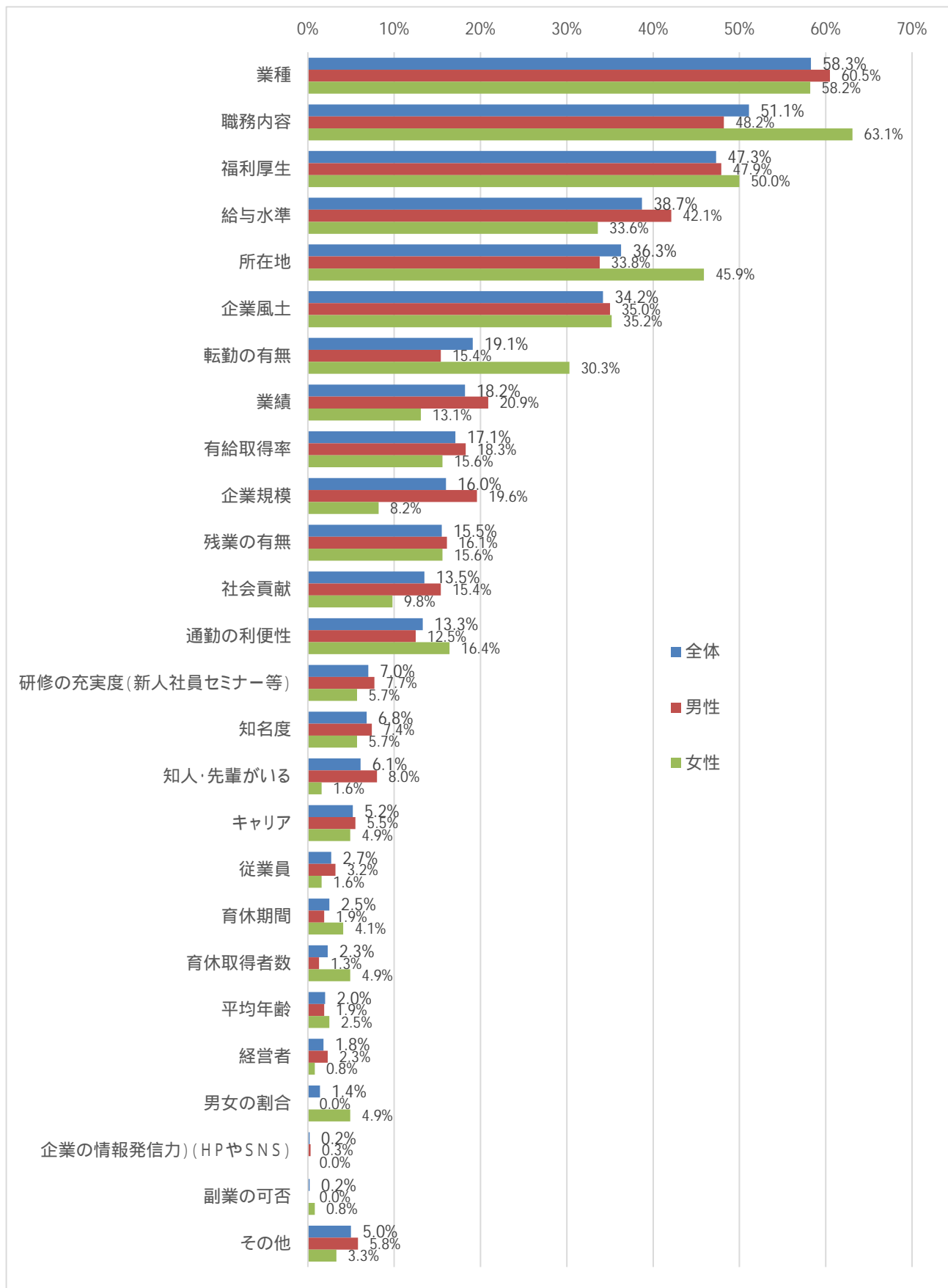


経年比較：全体(1994-2018)



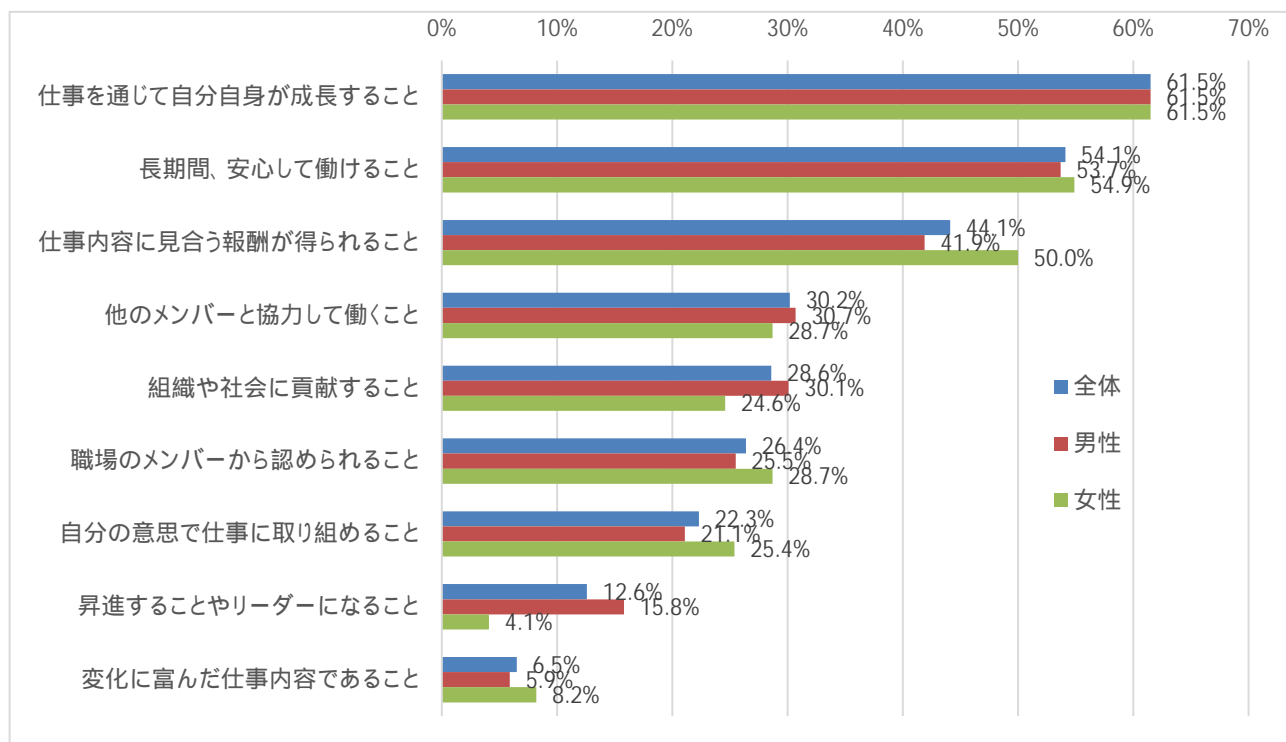
問3．就職先を選ぶ際に重視した点はなんですか？（５つまで選択）

(n=444)

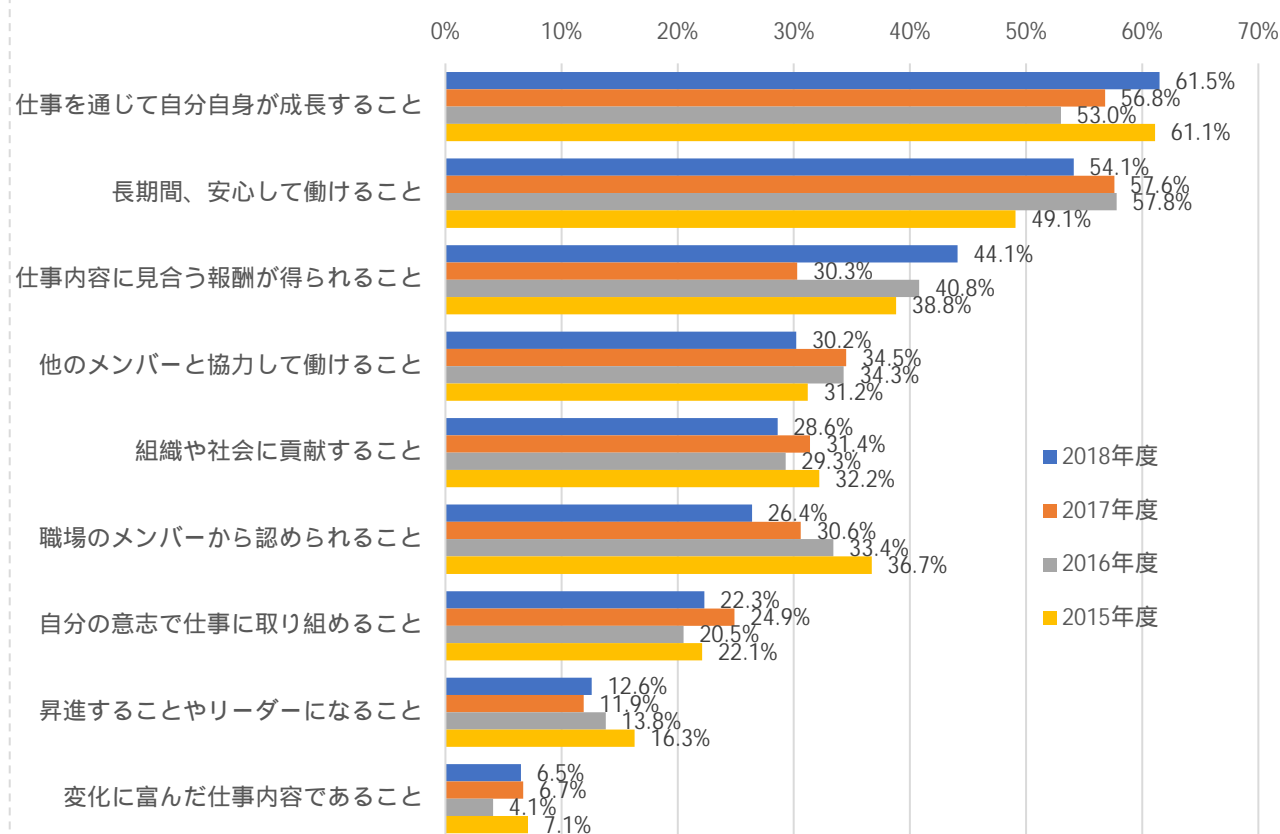


問４．あなたは「働く」うえで、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？（３つまで選択）

（n=444）

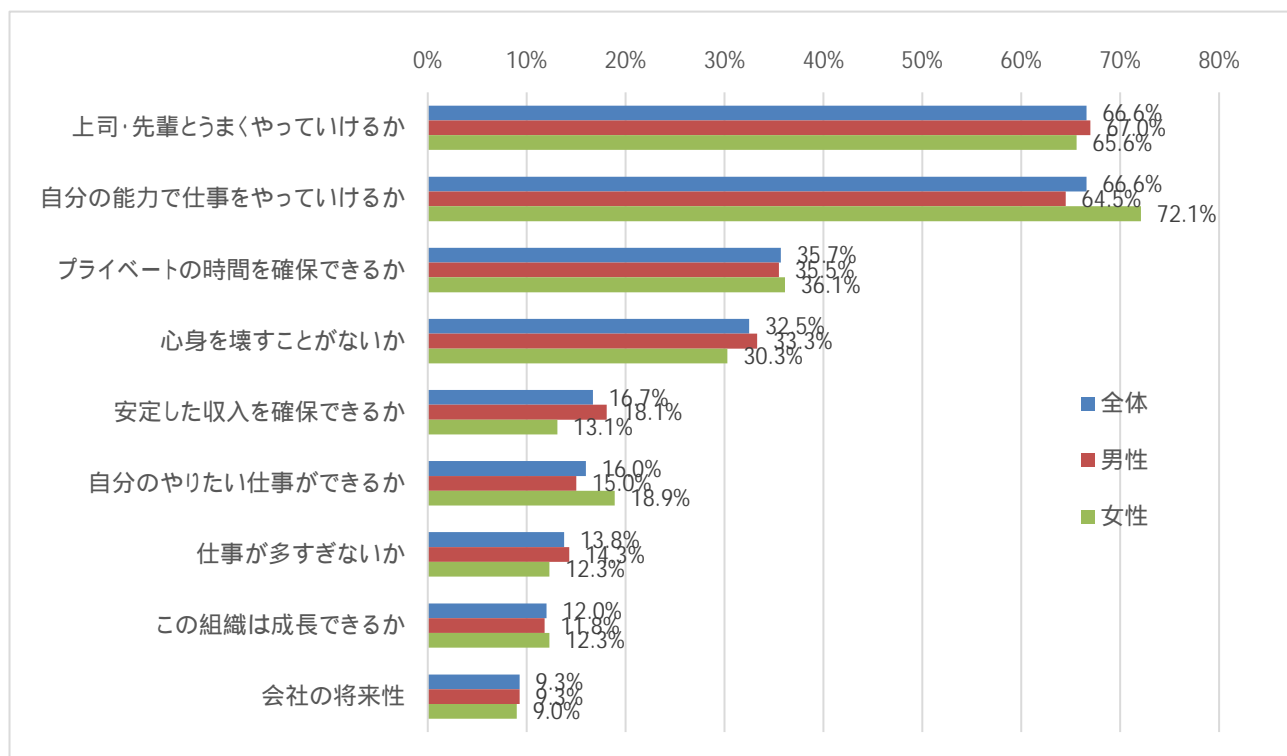


経年比較：全体（2015-2018）

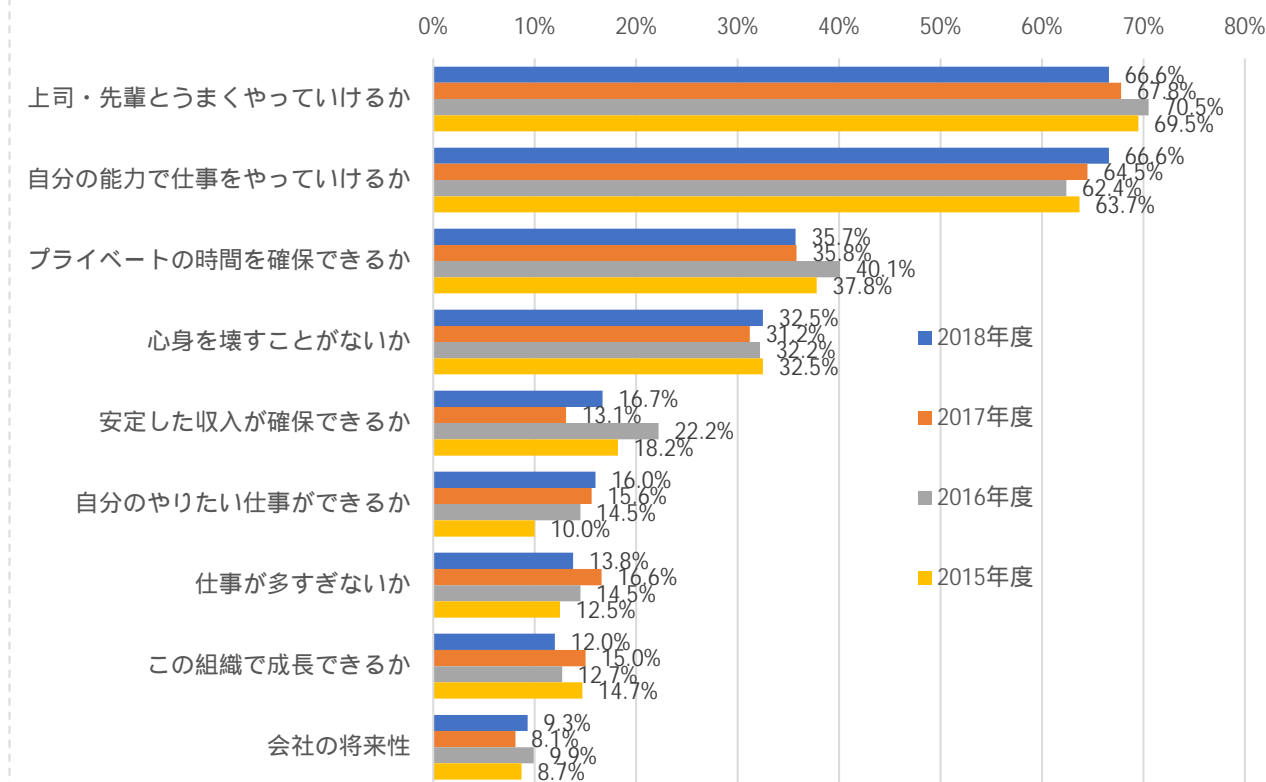


問5．働き始めるにあたって、不安に思っている事は何ですか？（3つまで選択）

（n=443）

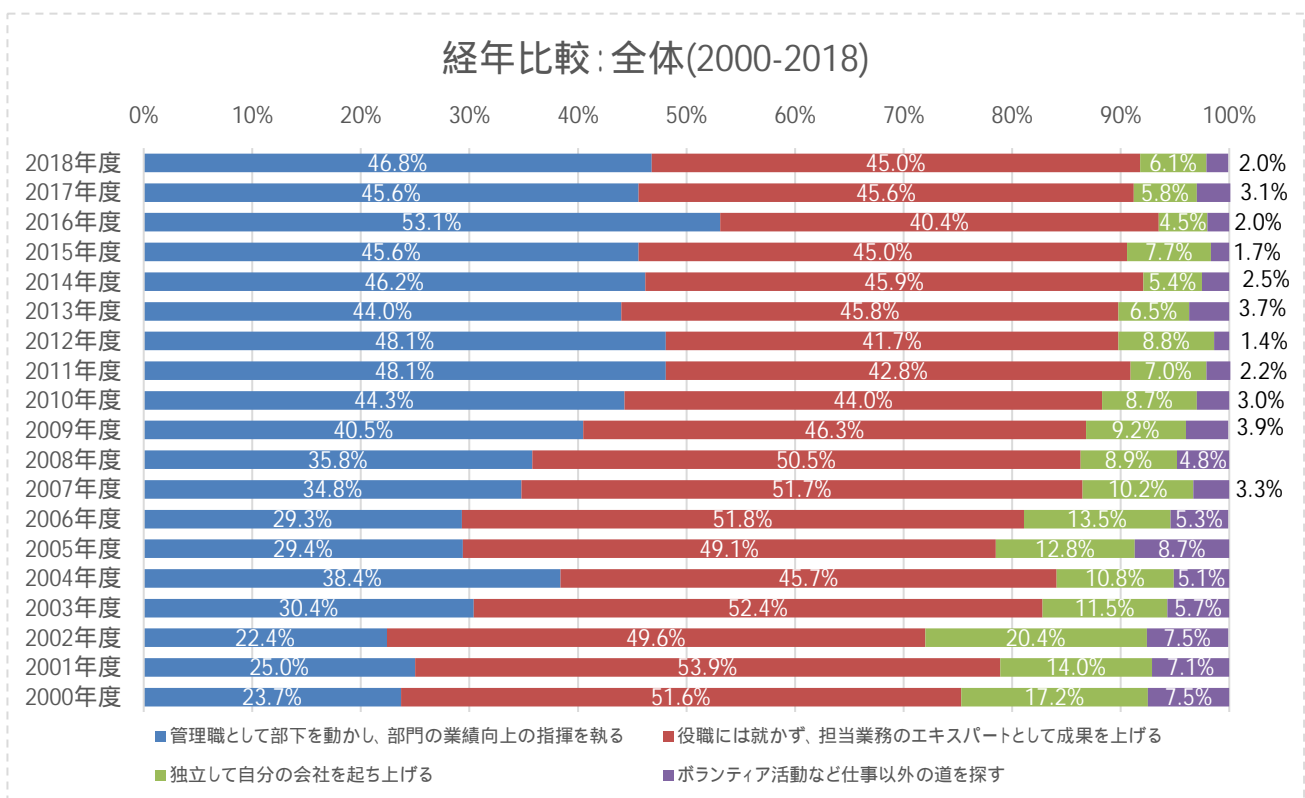
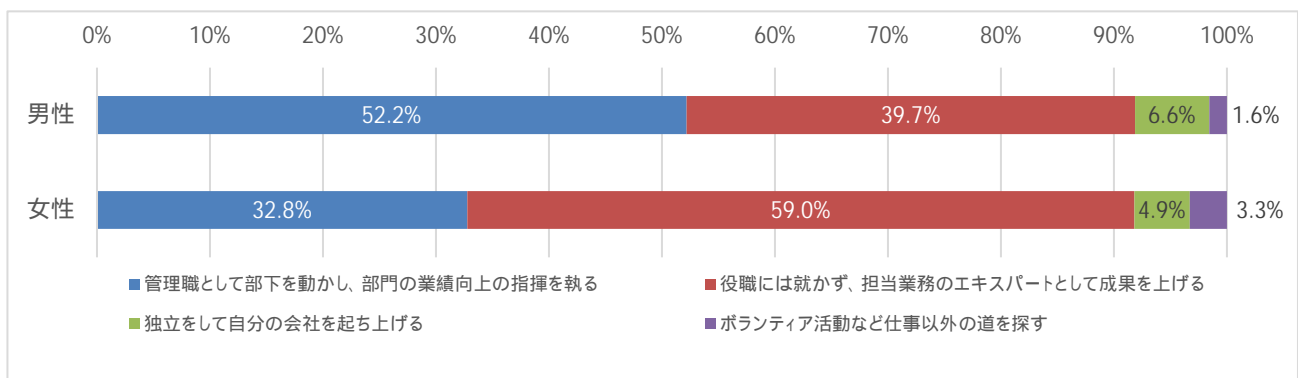
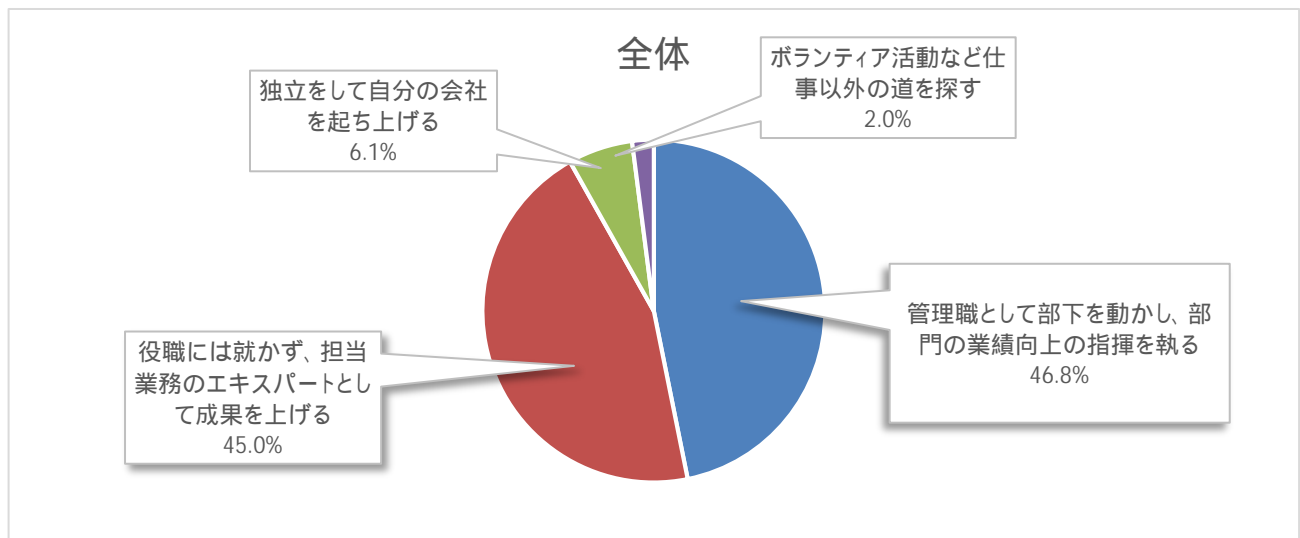


経年比較：全体（2015-2018）

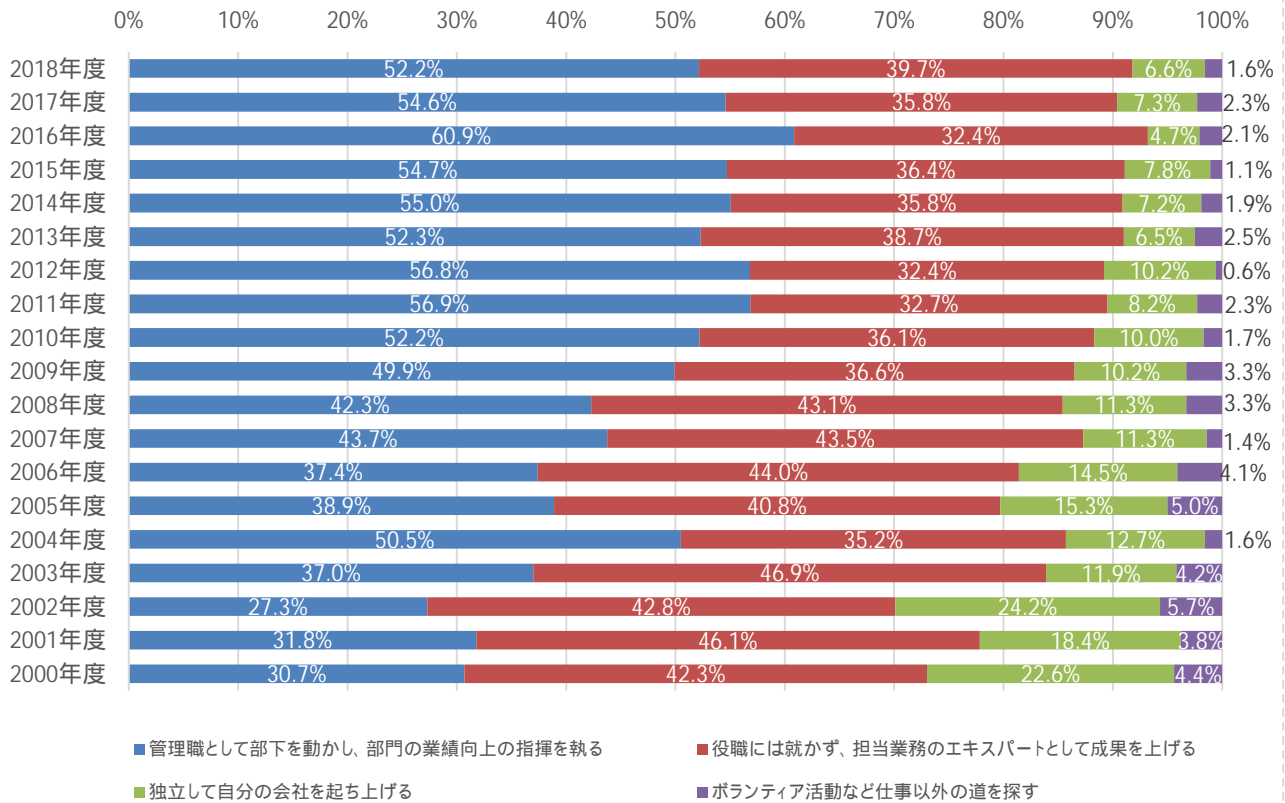


問6．将来の進路としてどのような方向を望みますか？

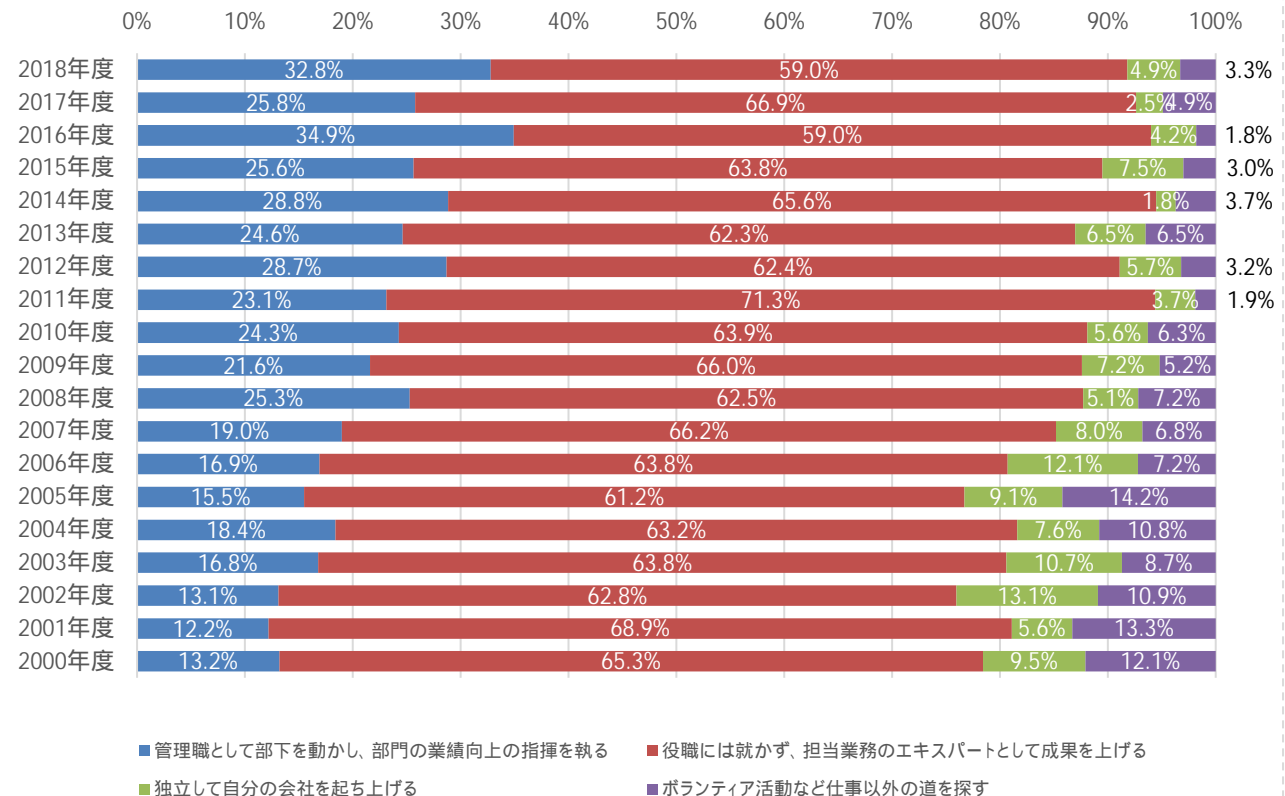
(n=442)



経年比較: 男性(2000-2018)

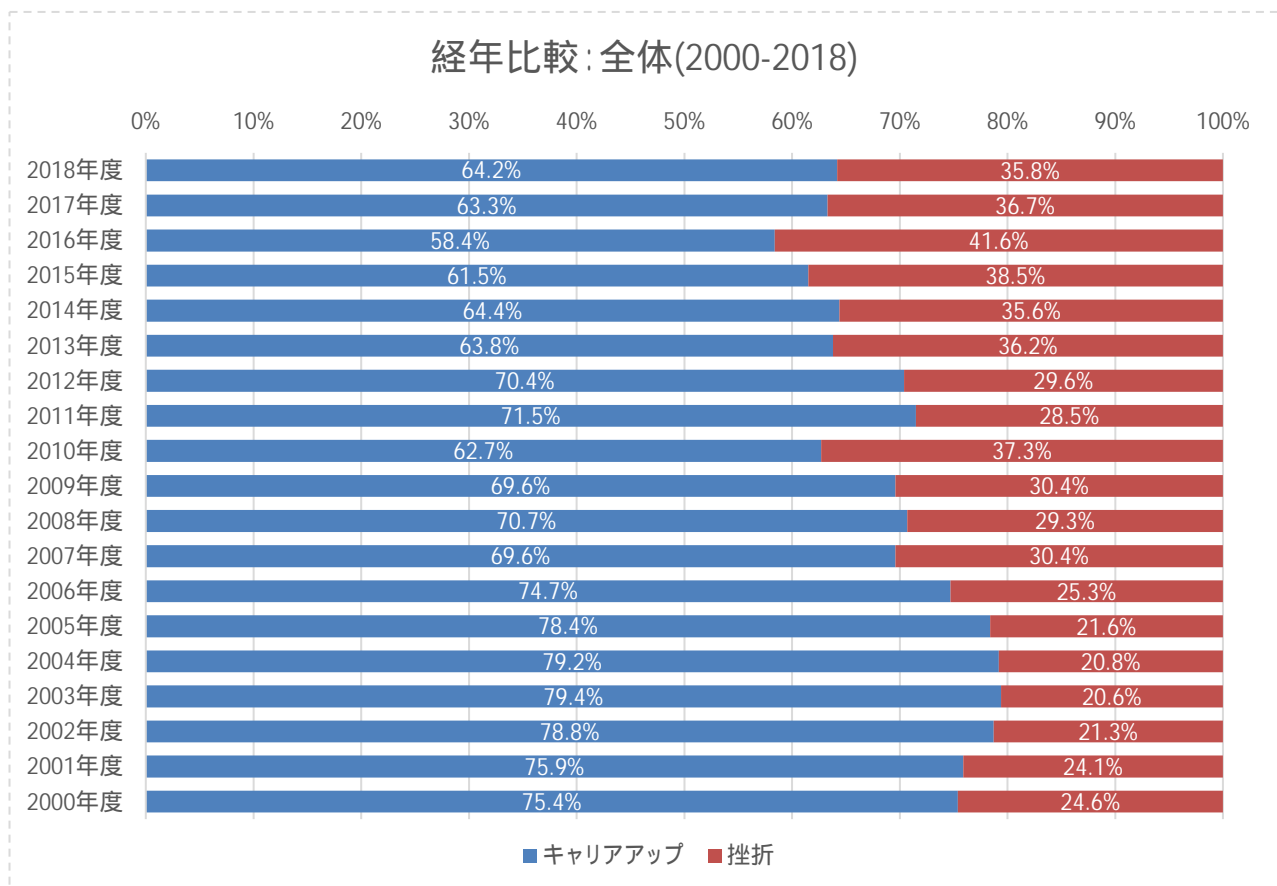
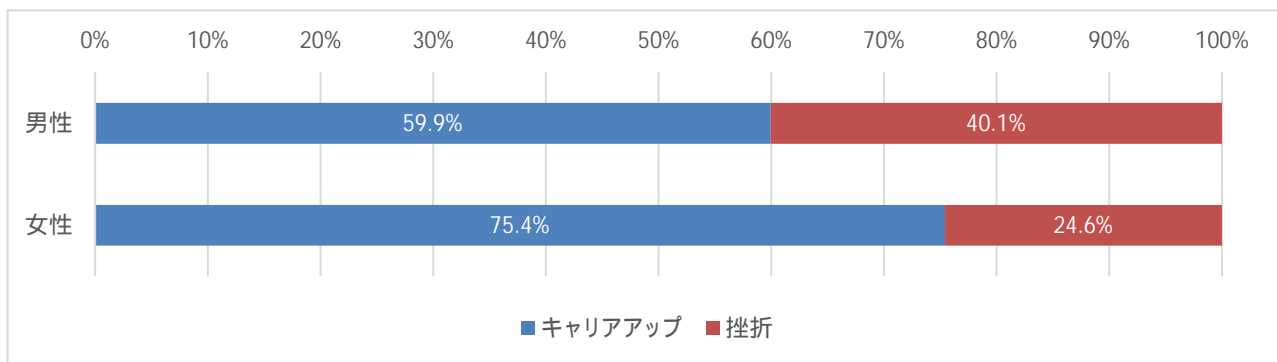
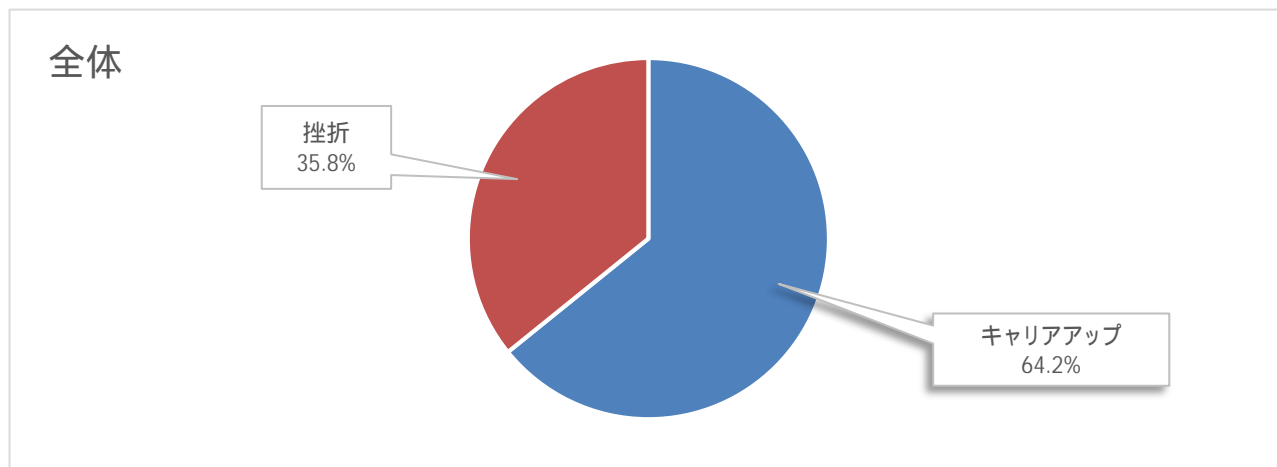


経年比較: 女性(2000-2018)



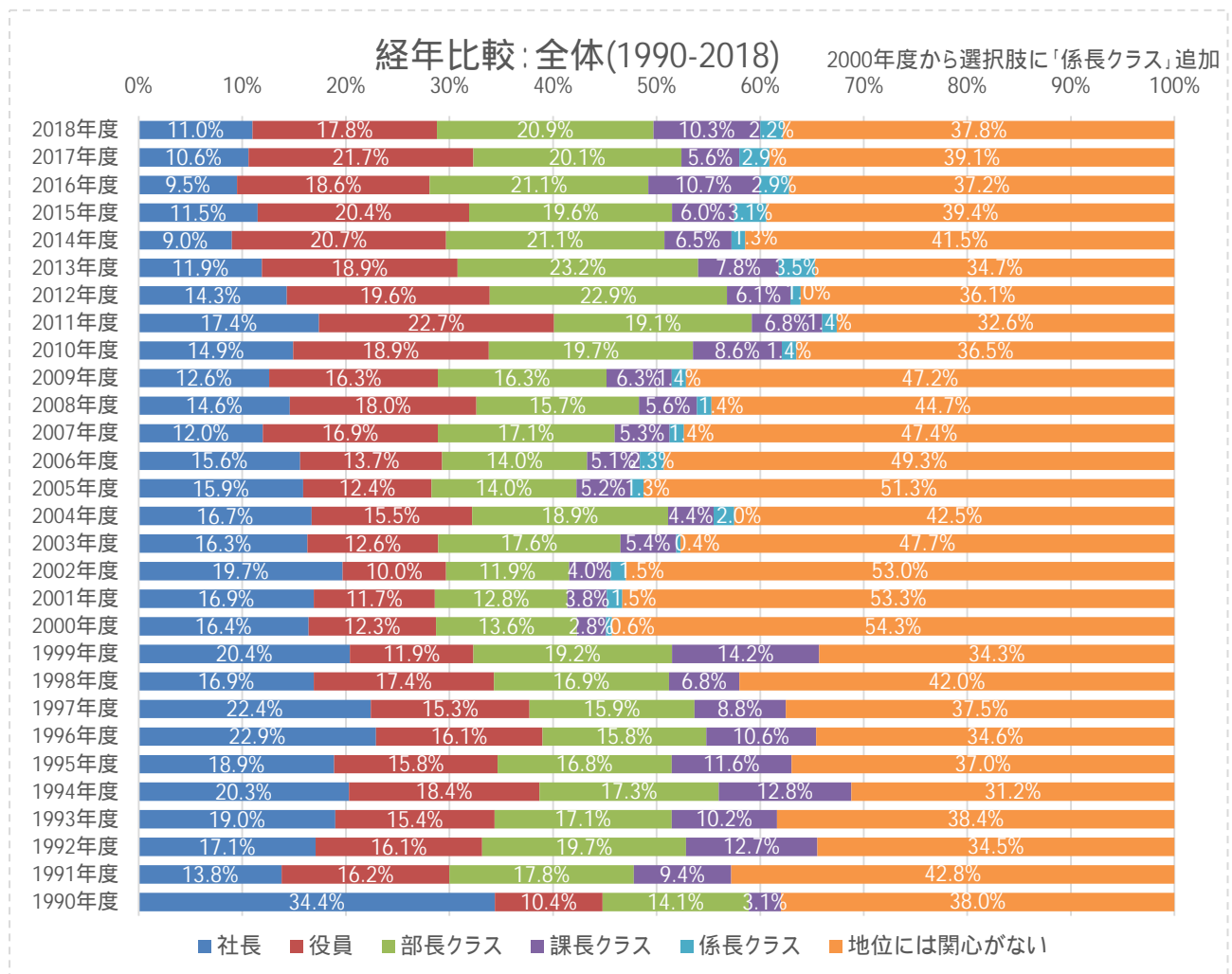
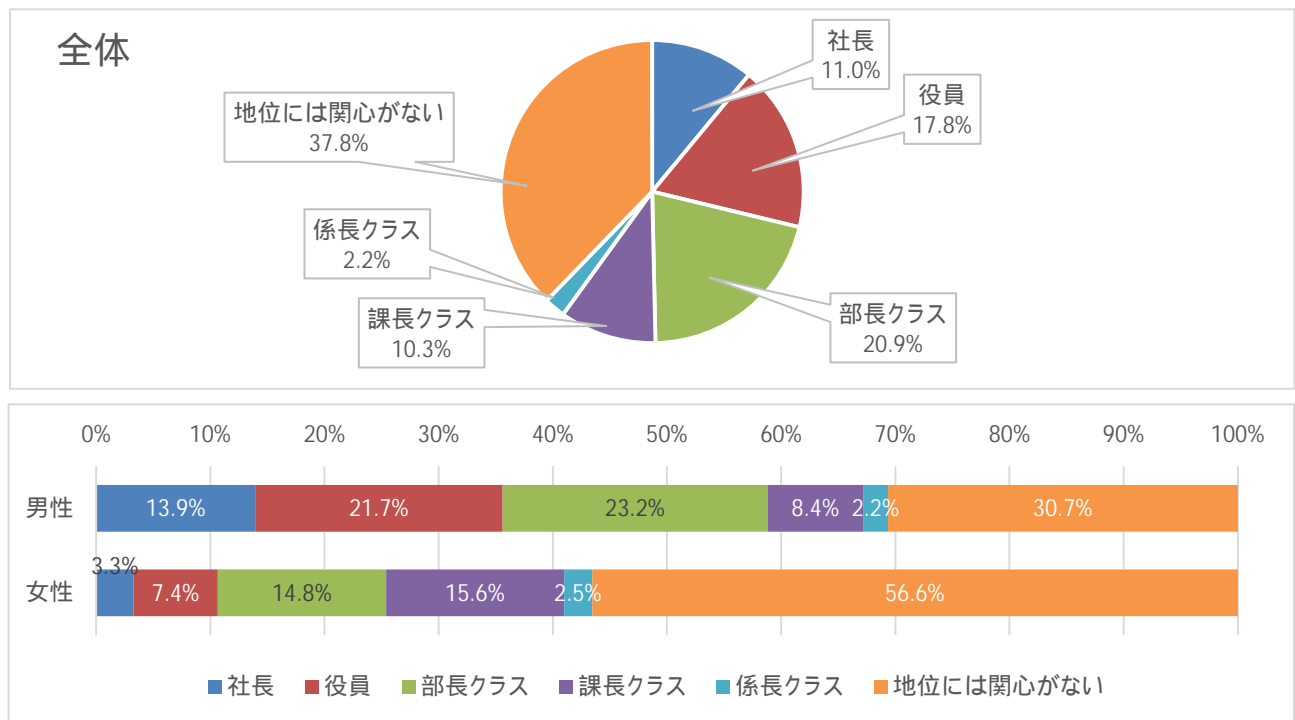
問7．転職から受けるイメージとしてより強く感じるのはどちらですか？

(n=444)



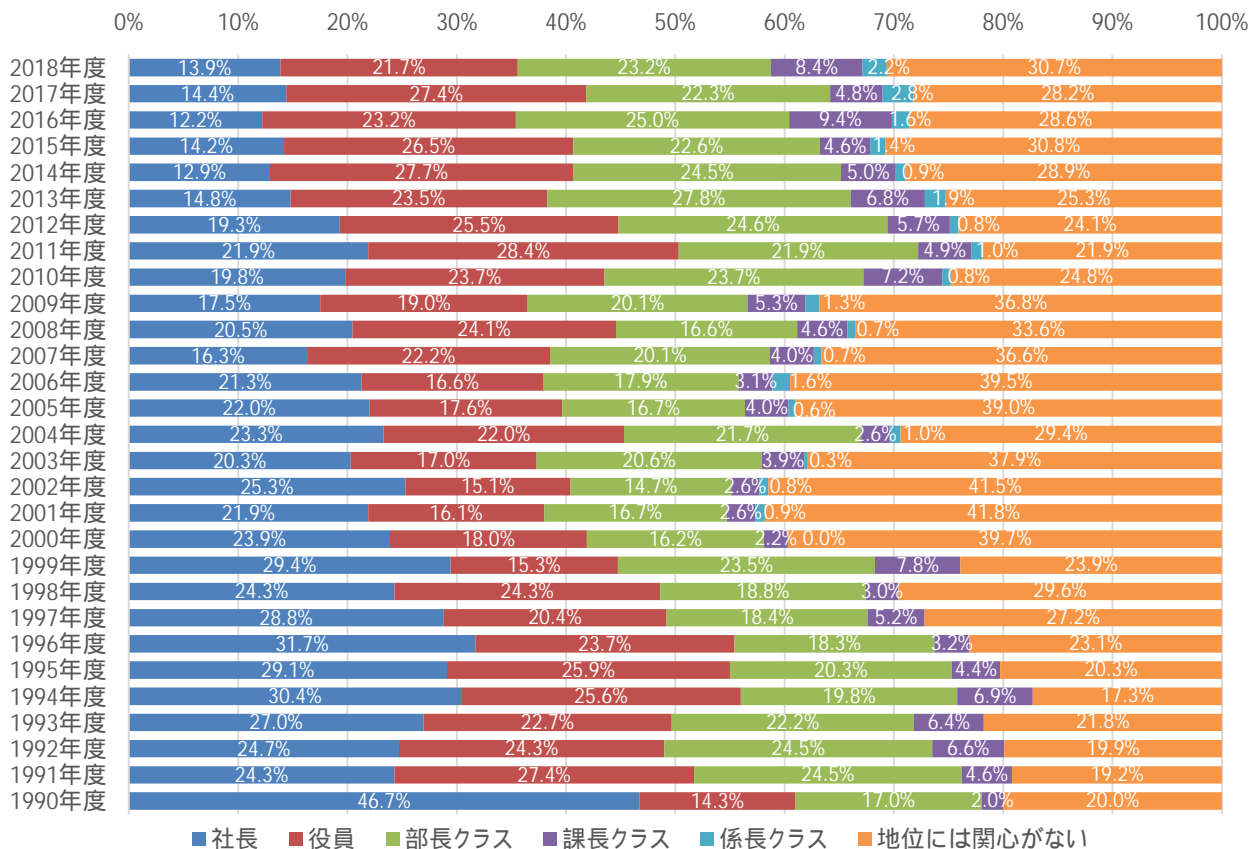
問8.あなたが目標とする役職・地位は？

(n=445)



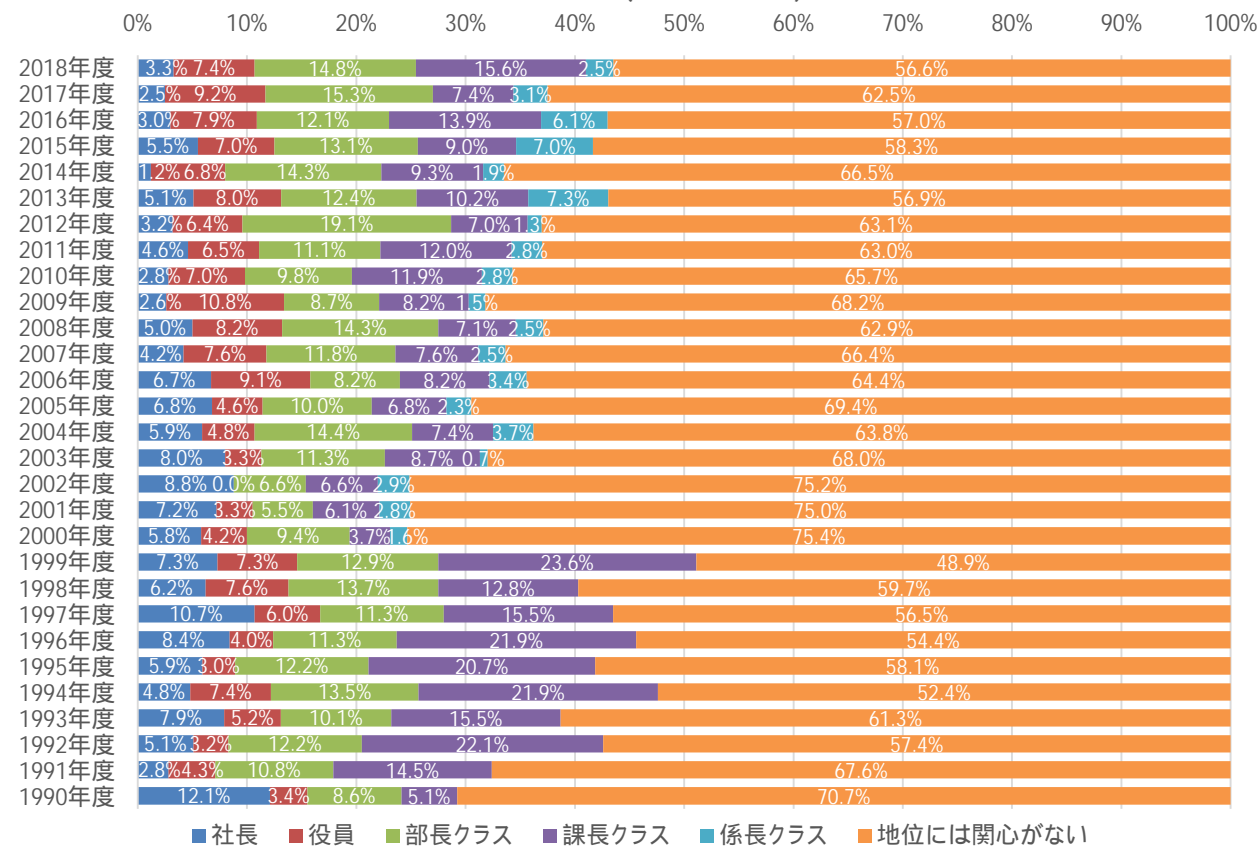
経年比較：男性(1990-2018)

2000年度から選択肢に「係長クラス」追加



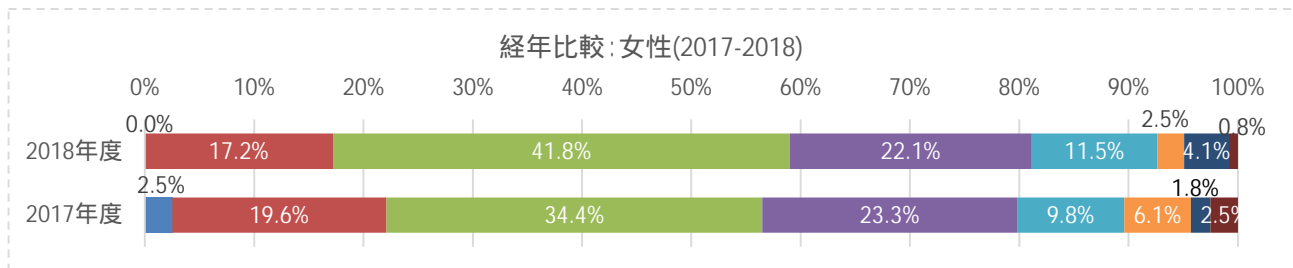
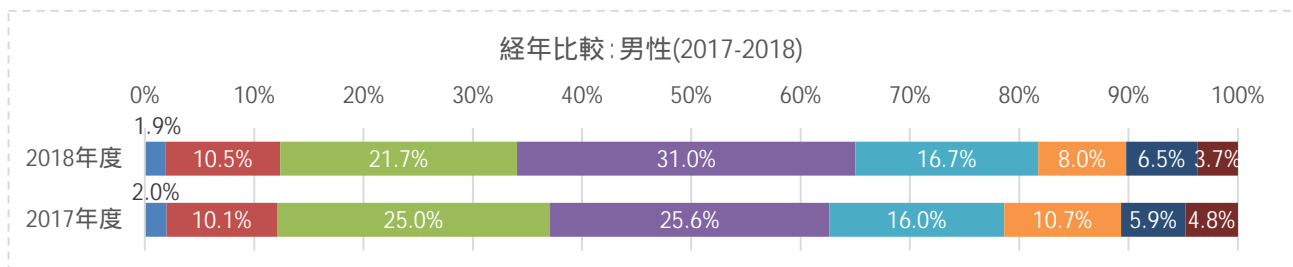
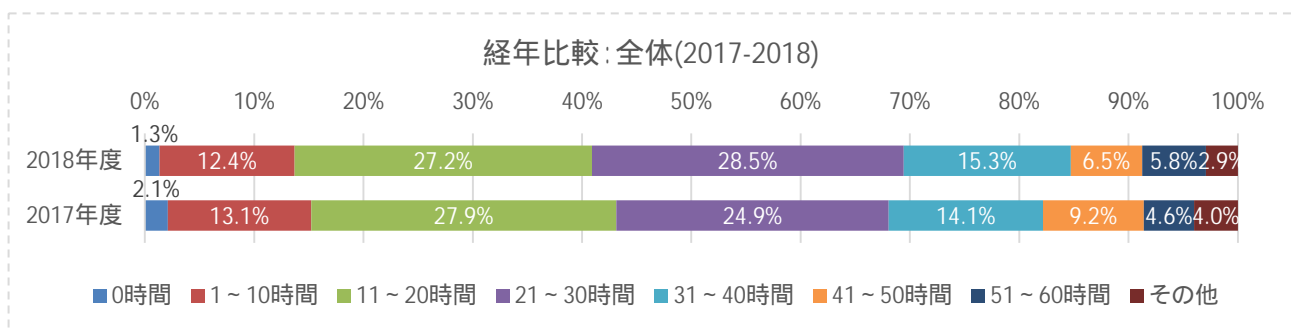
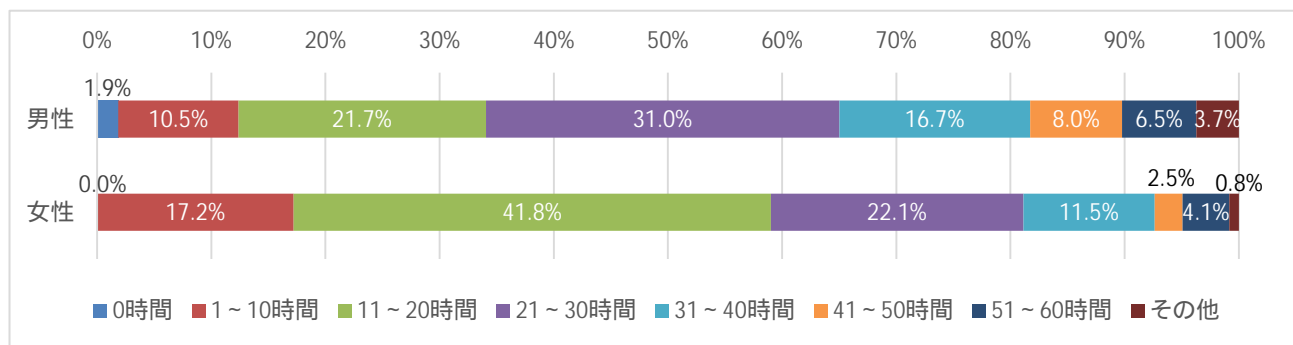
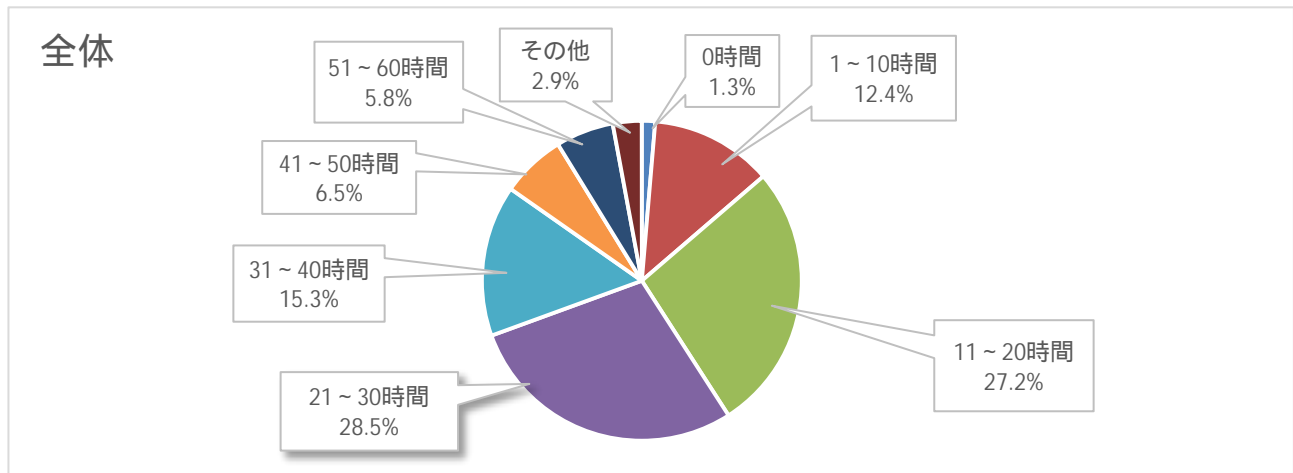
経年比較：女性(1990-2018)

2000年度から選択肢に「係長クラス」追加



問 9.1 カ月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？

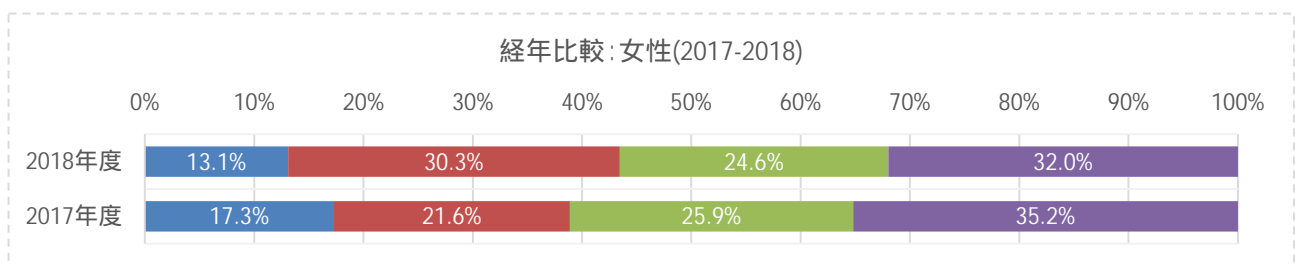
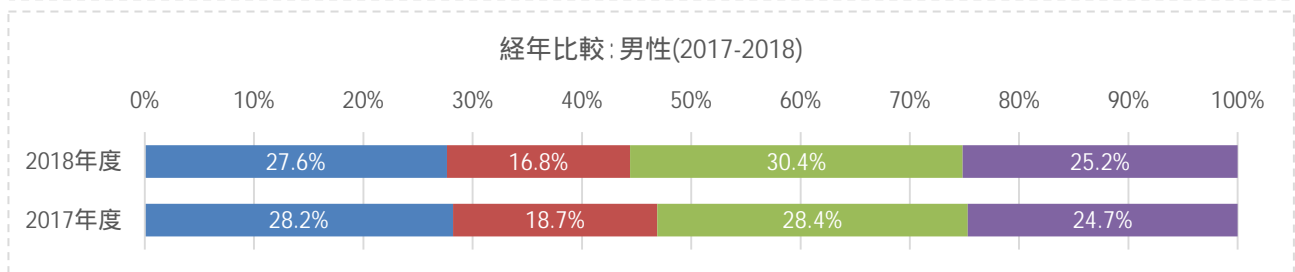
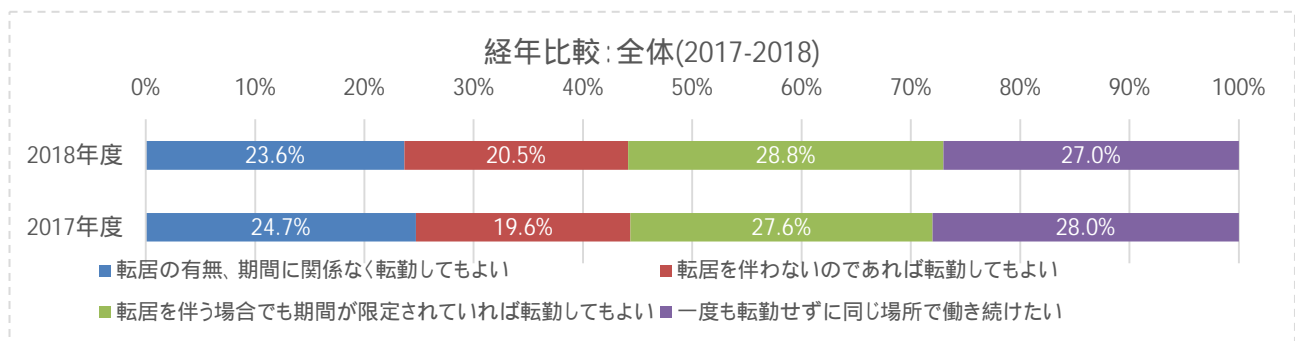
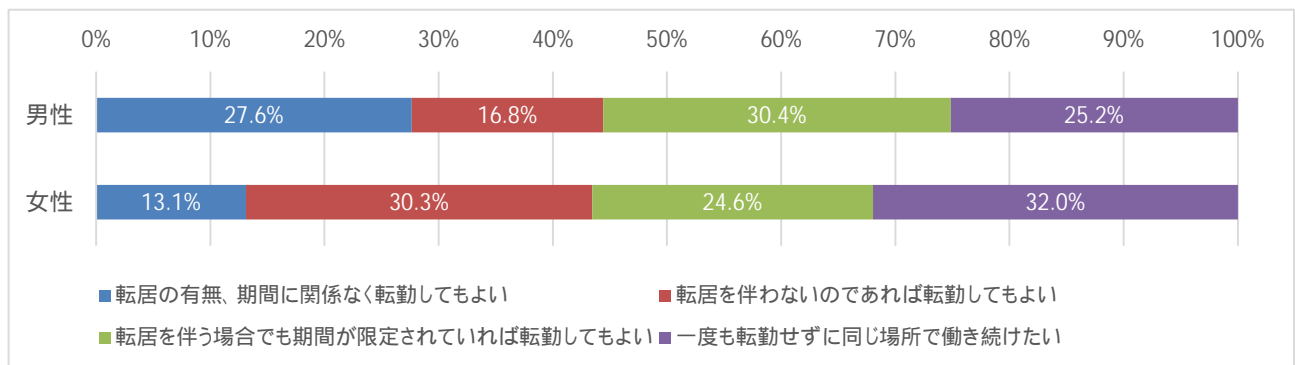
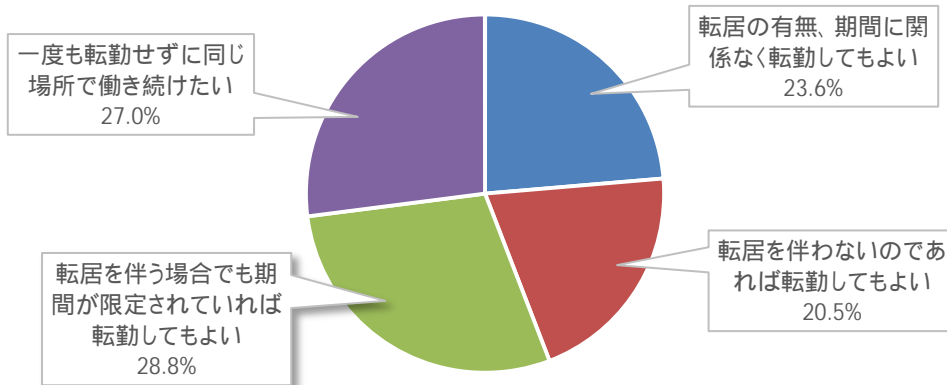
(n=445)



問10．あなたは「転勤」についてどのように考えていますか？

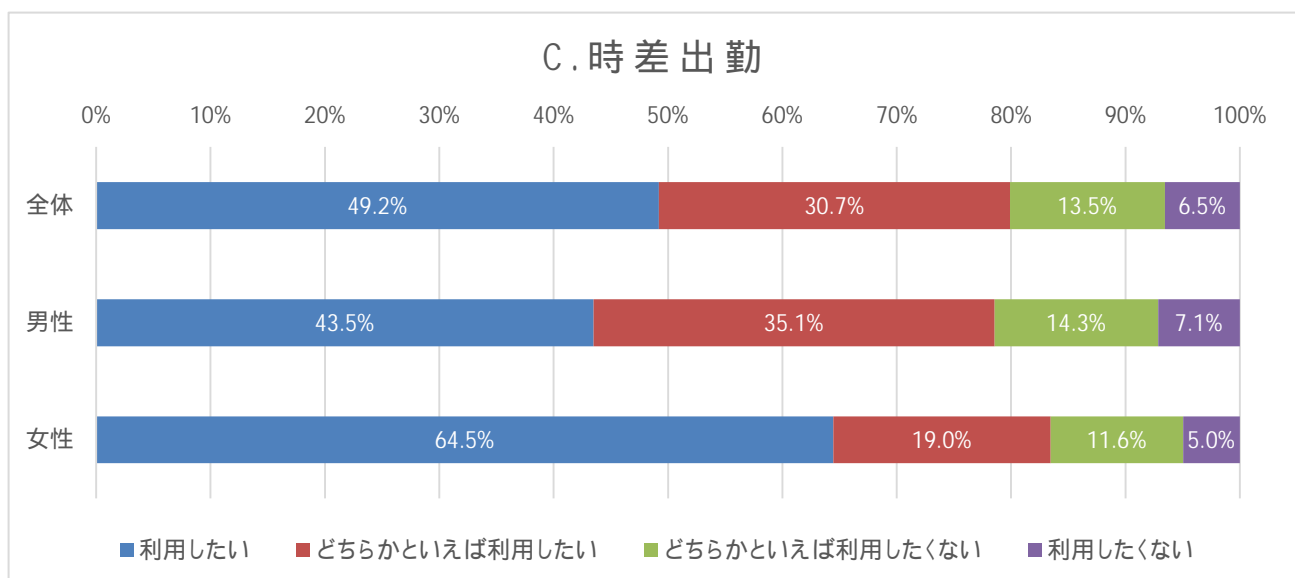
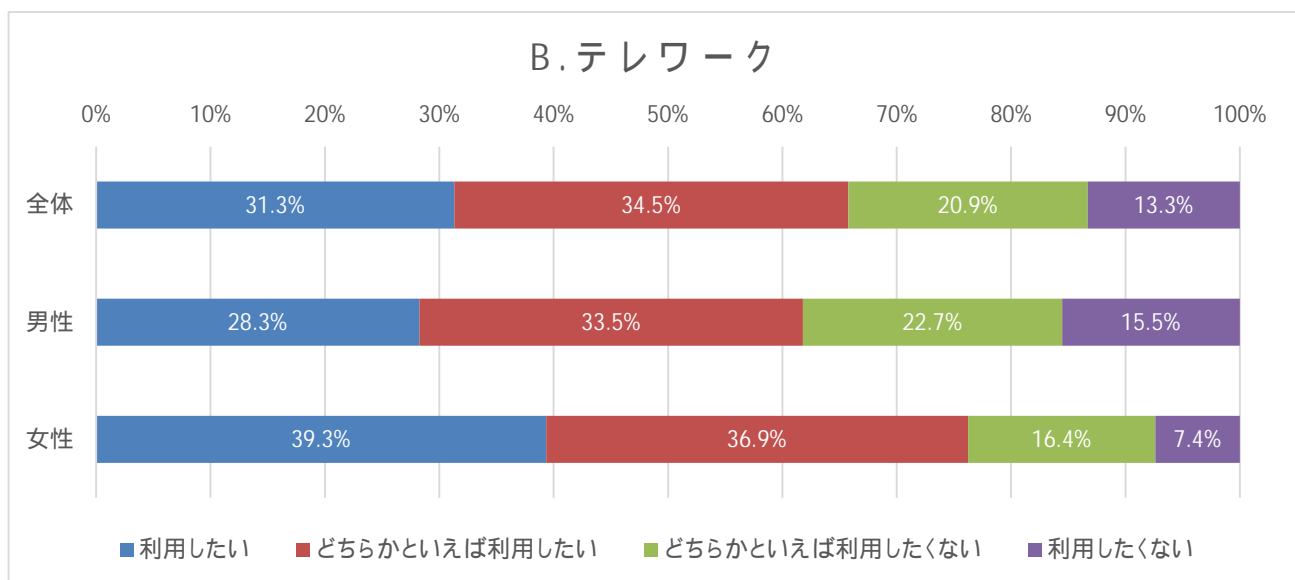
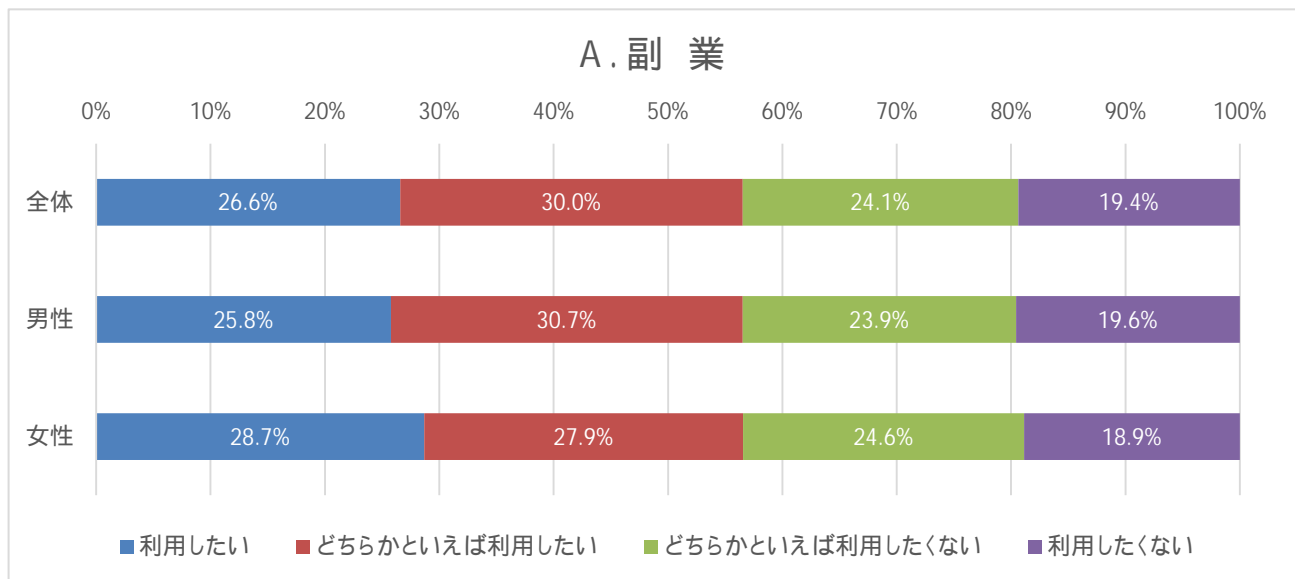
(n=444)

全体



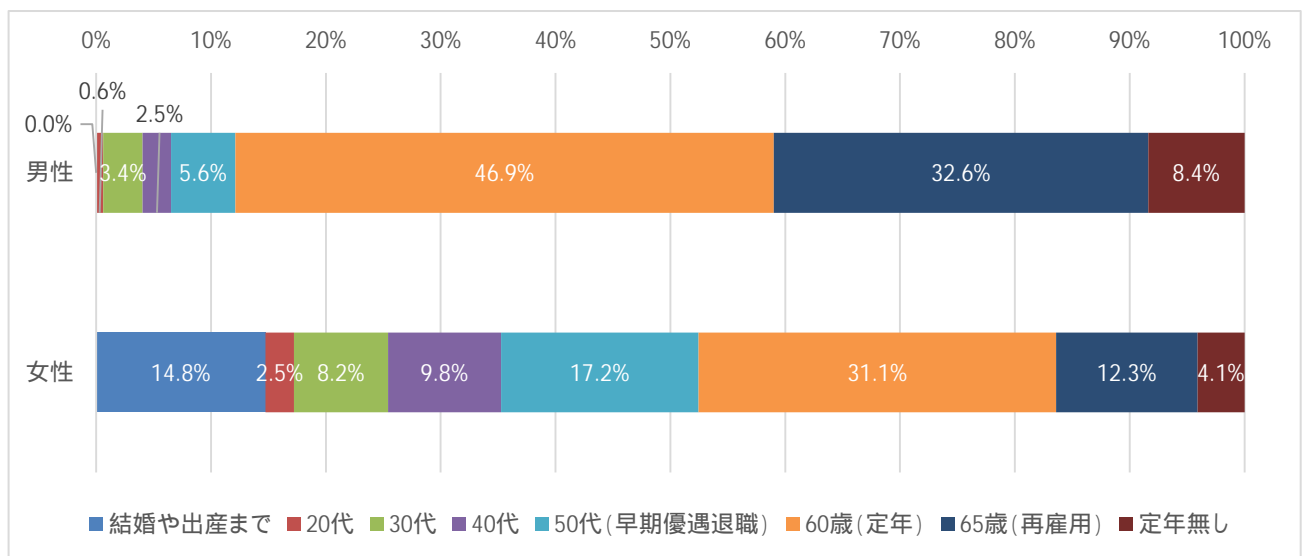
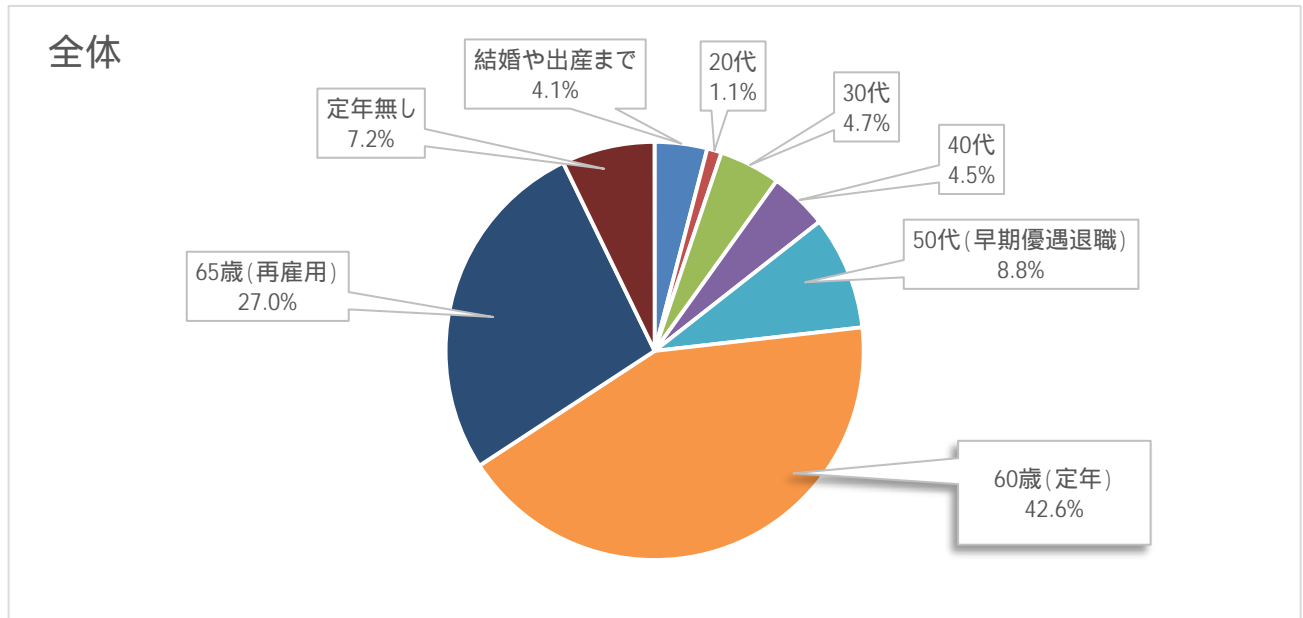
問 11 . 会社に以下の制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？

(A/n=444) (B/n=444) (C/n=443)



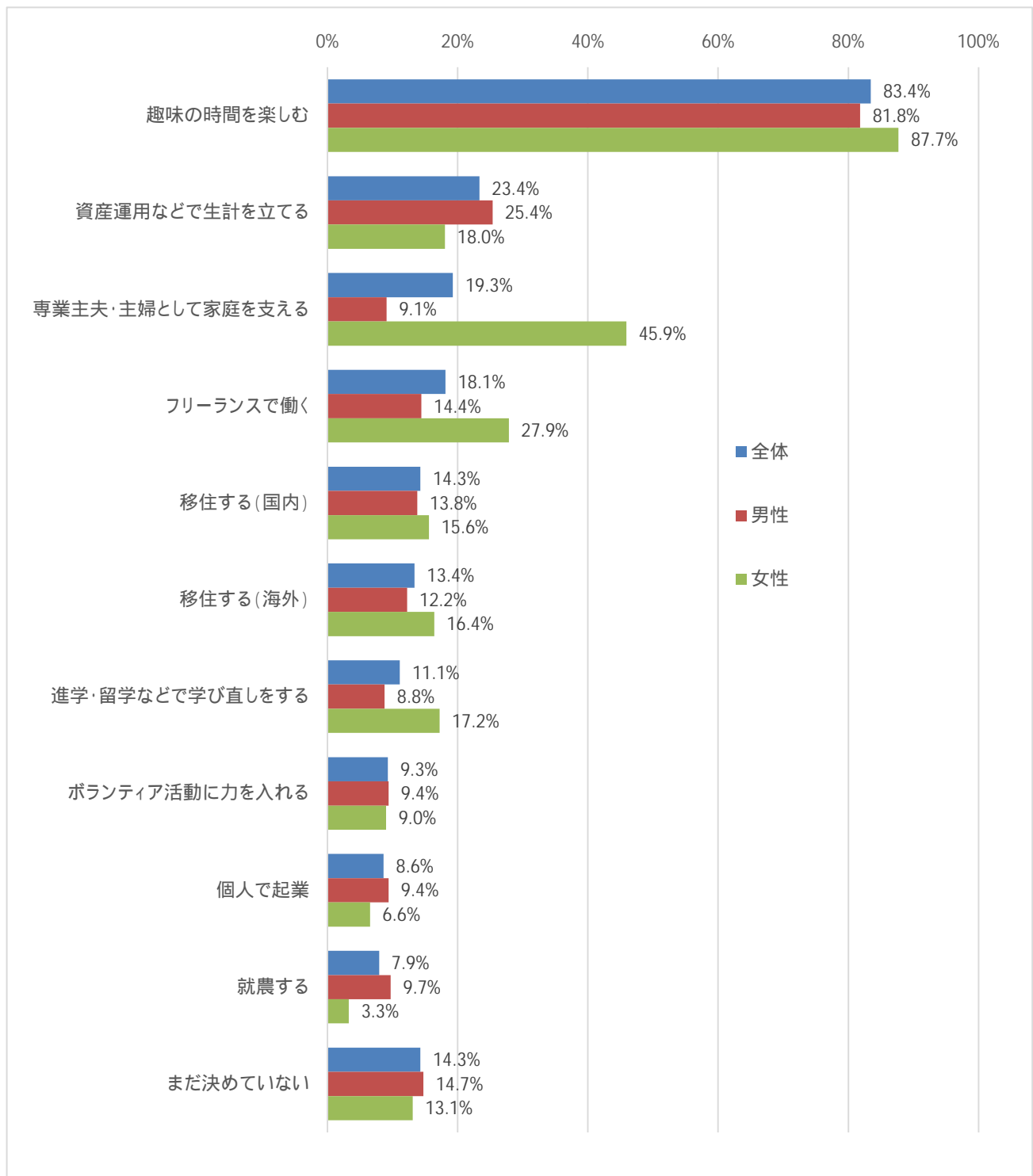
問 1 2 . “ 人生 100 年時代 ” と言われている中で、あなたはいつまでサラリーマンとして働きたいと思いますか？

(n=444)



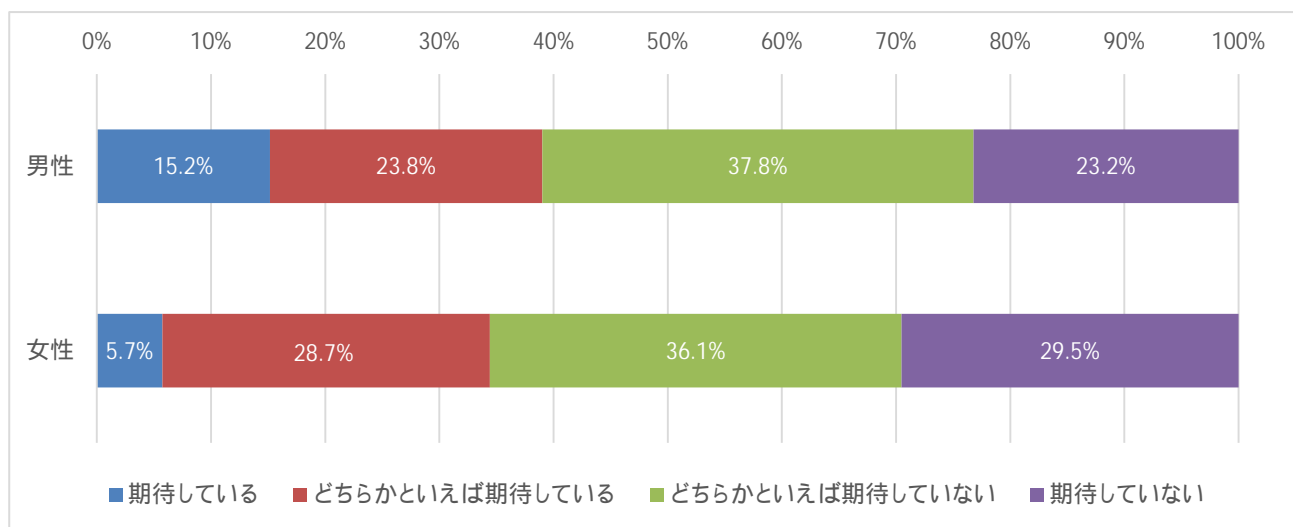
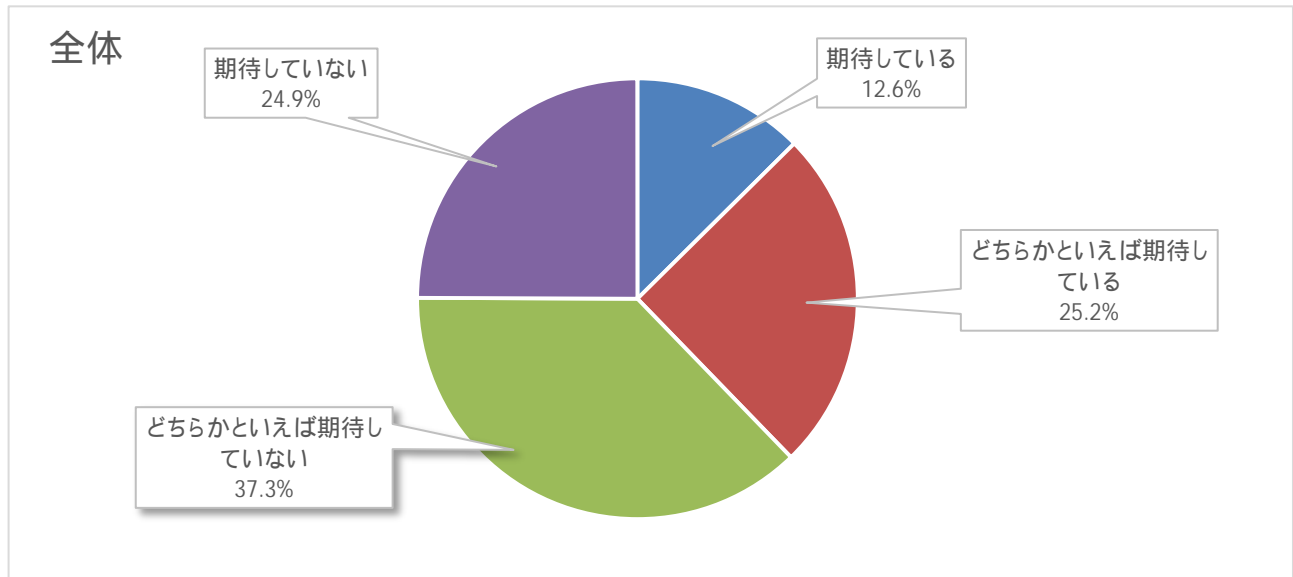
問 1 3 . 前問の年代で退職した後にやりたいことをお選びください (複数選択)

(n=441)



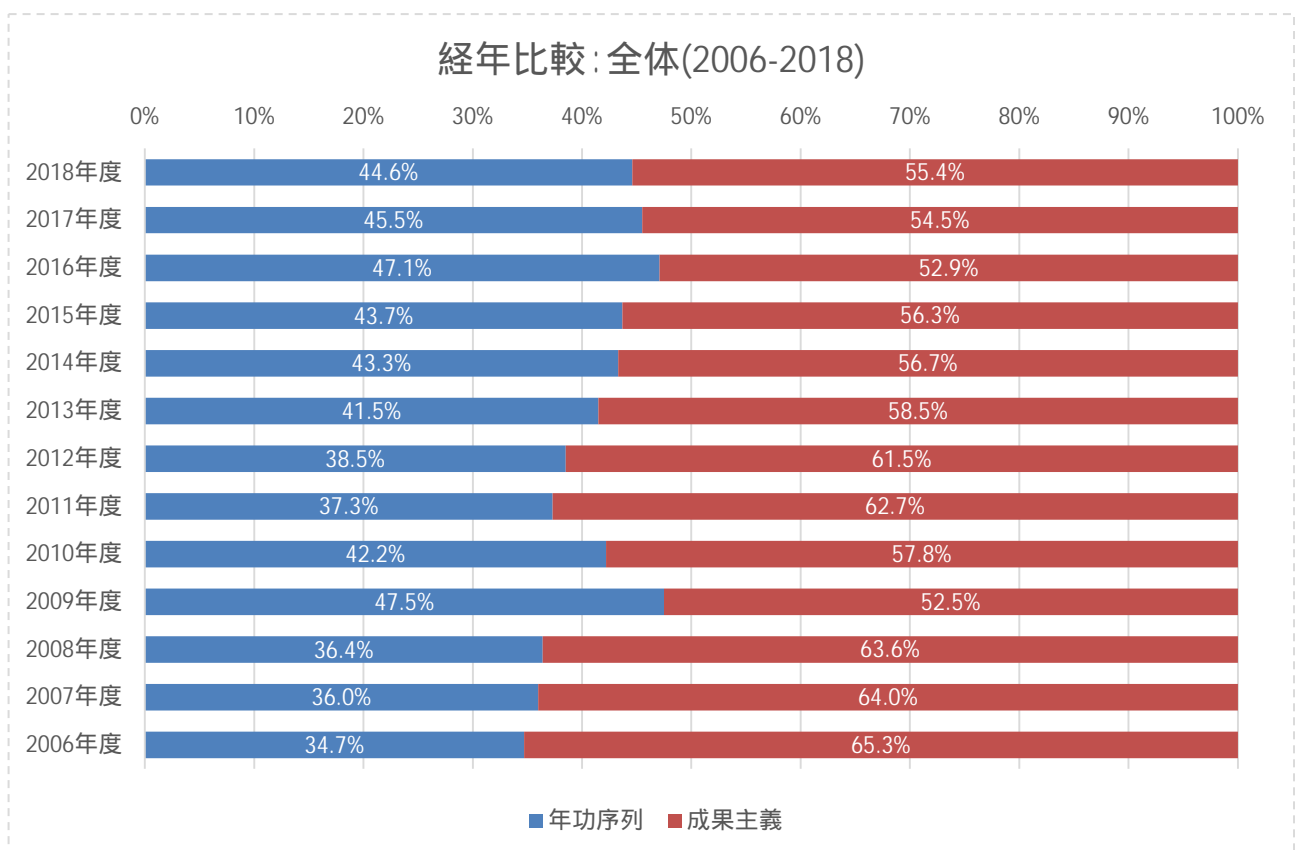
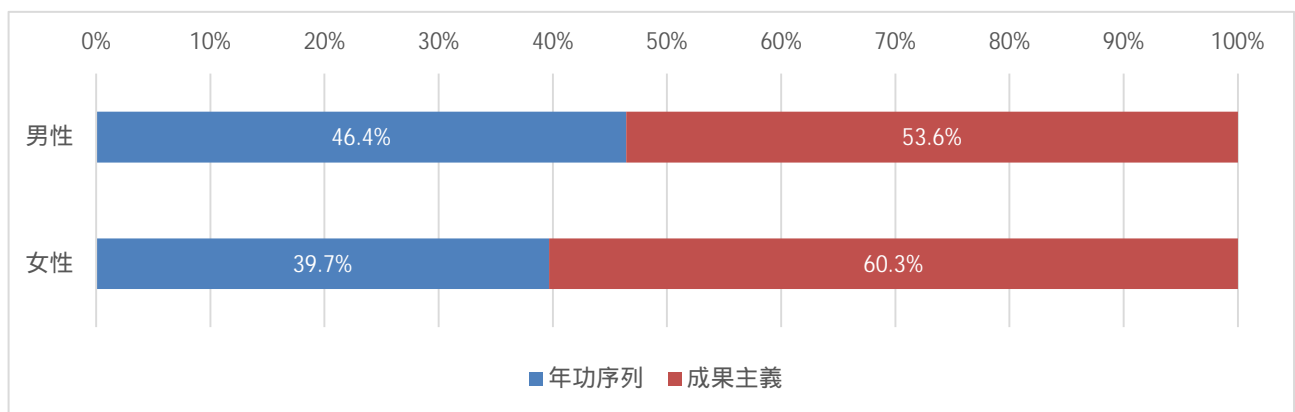
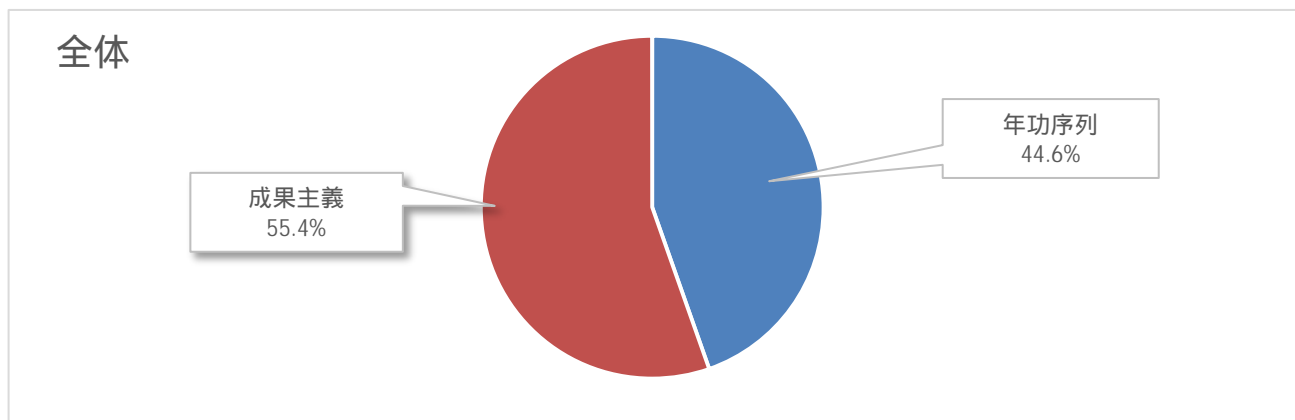
問 1 4 . 将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待していますか？

(n=445)

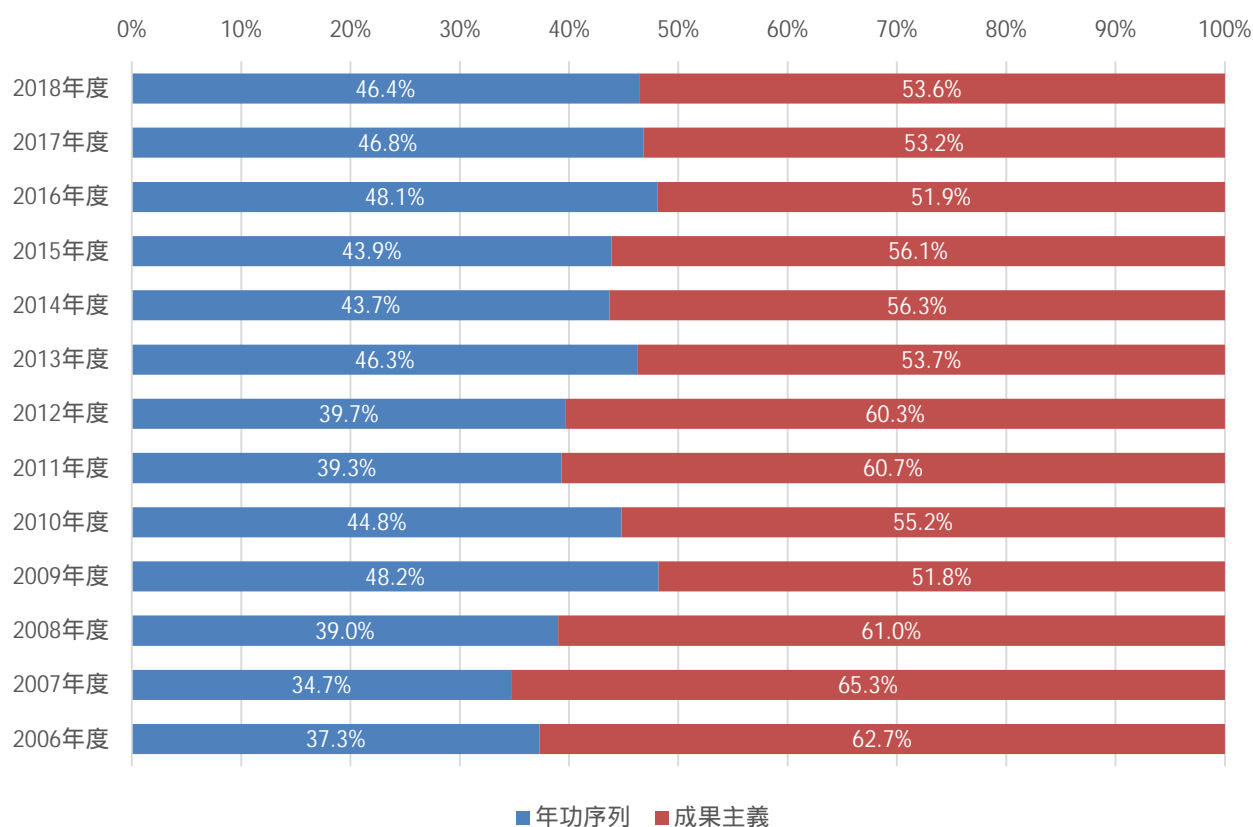


問 1 5 . 年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的な人事制度ではどちらを望みますか？

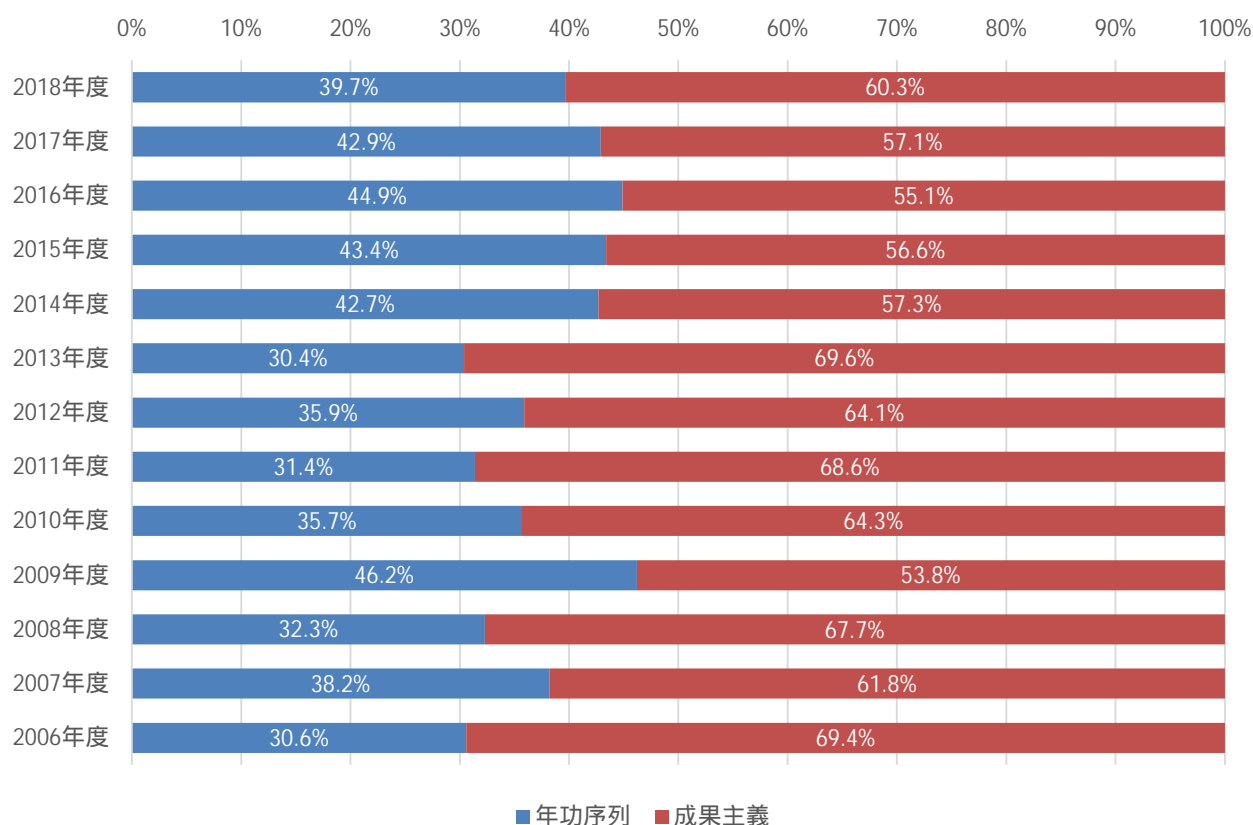
(n=444)



經年比較：男性(2006-2018)

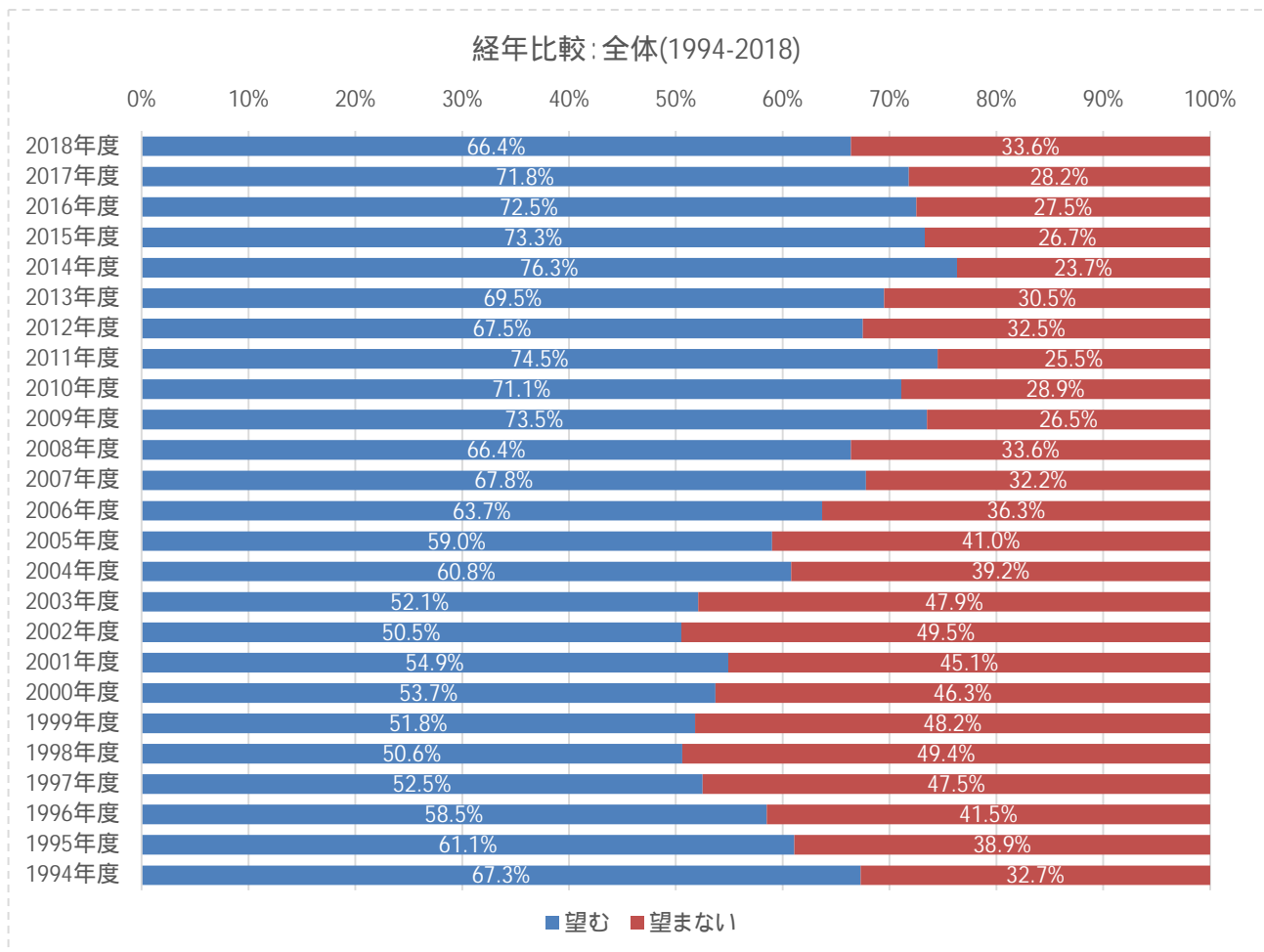
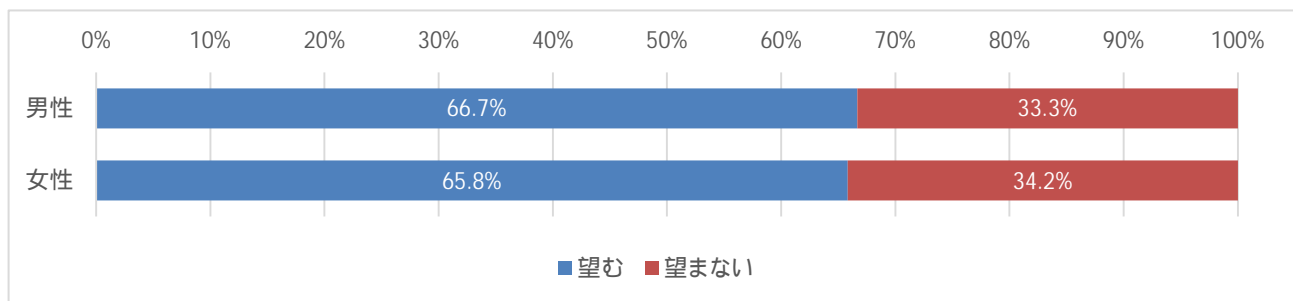
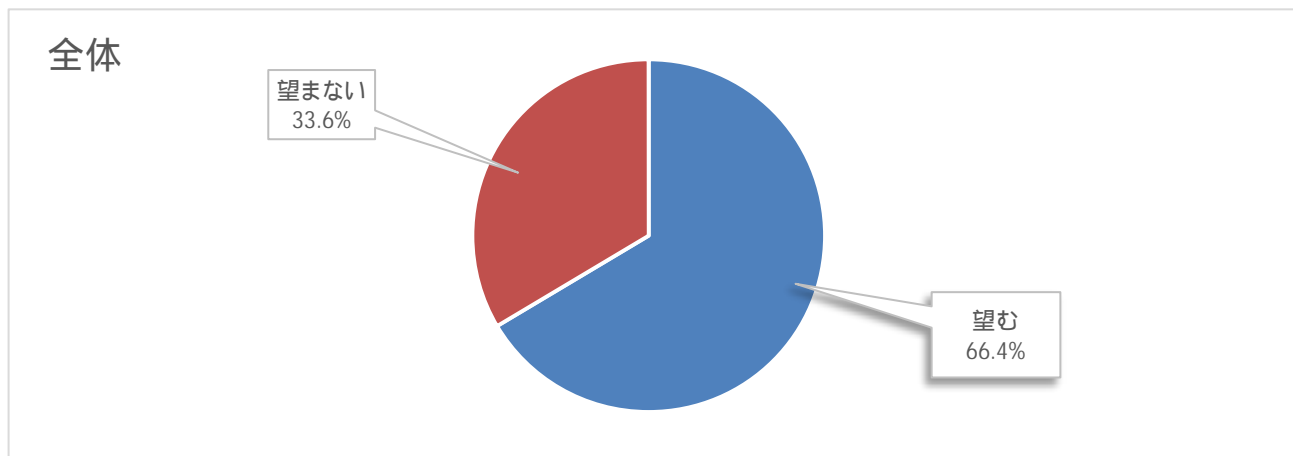


經年比較：女性(2006-2018)



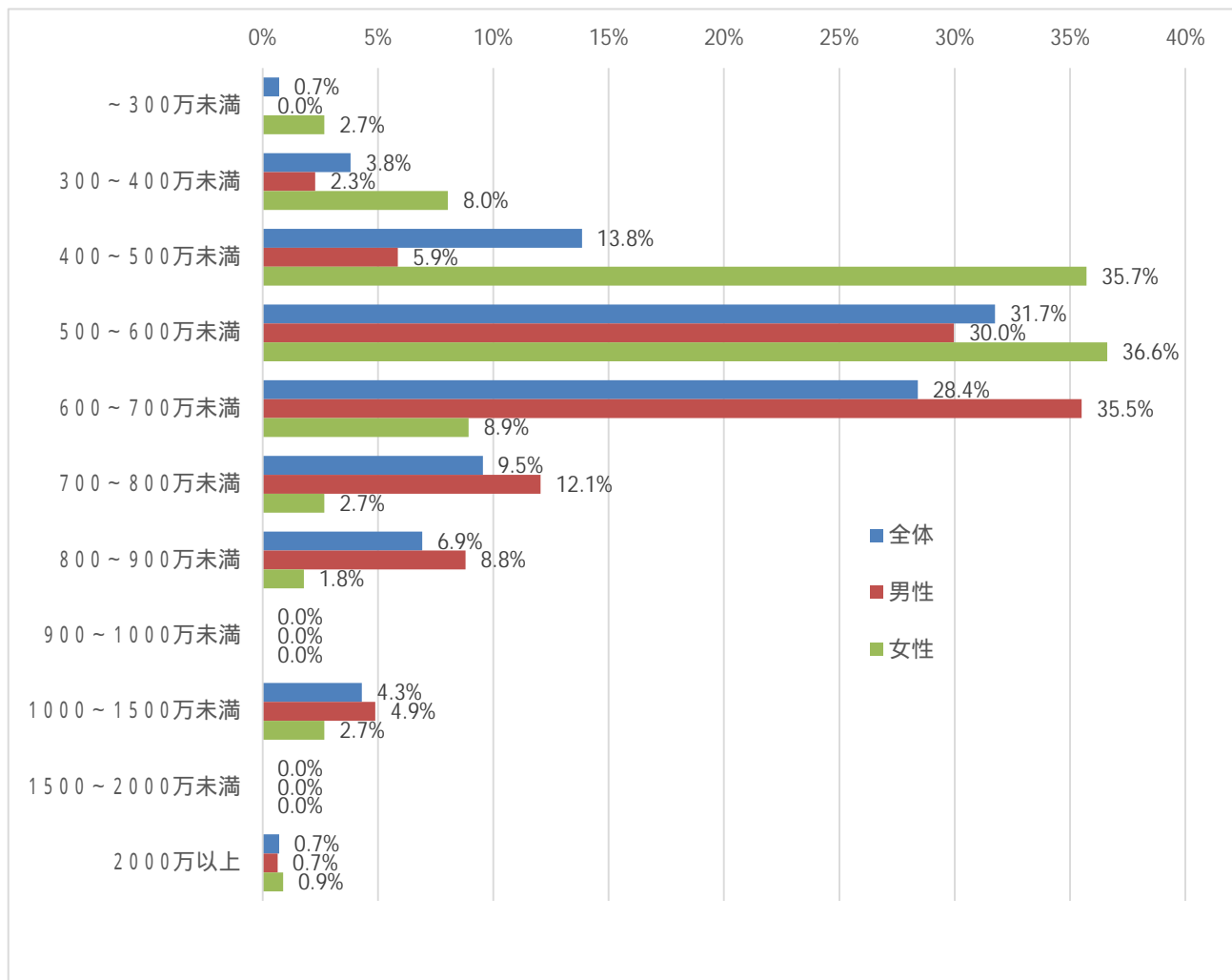
問 1 6 . “ 終身雇用制度 ” を望みますか？

(n=441)



問 1 7 . 3 5 歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？

(n=419)

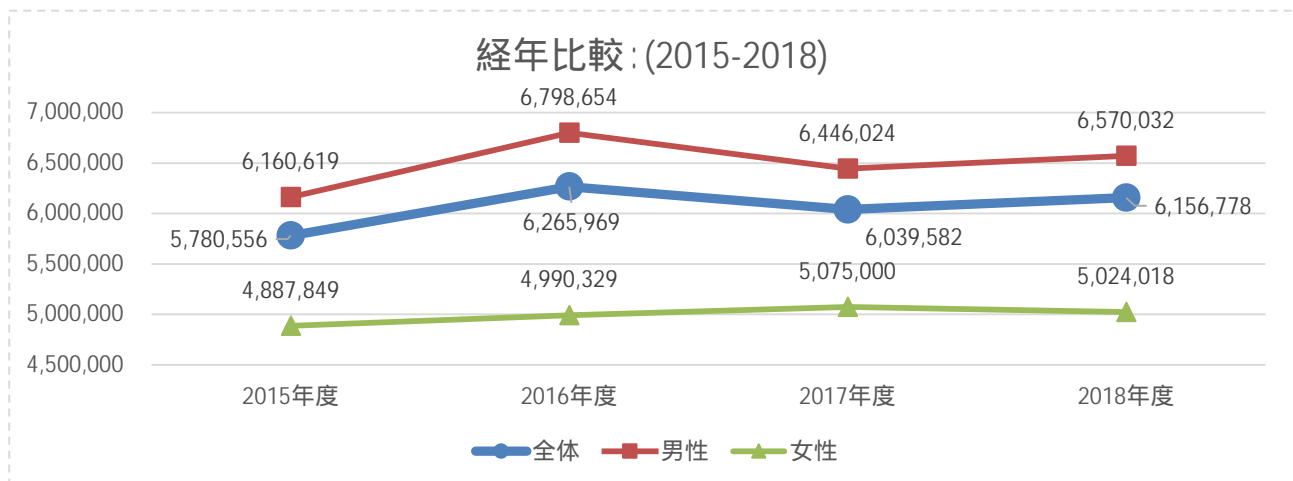


加重平均値

全体 = 6,156,778円 / 対前年比：+ 124,008円

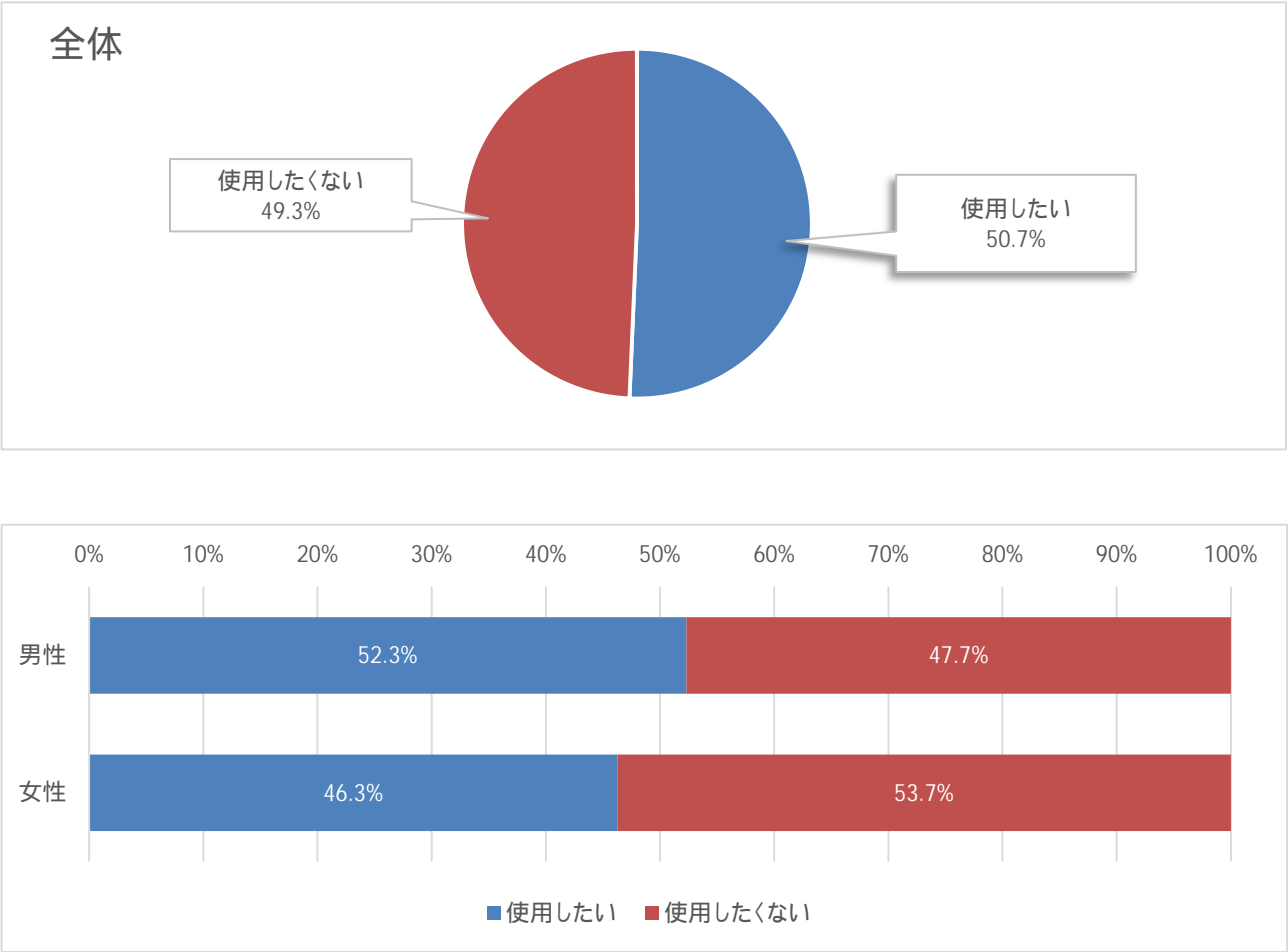
男性 = 6,570,032円 / 対前年比：+ 63,008円

女性 = 5,024,018円 / 対前年比：- 50,982円



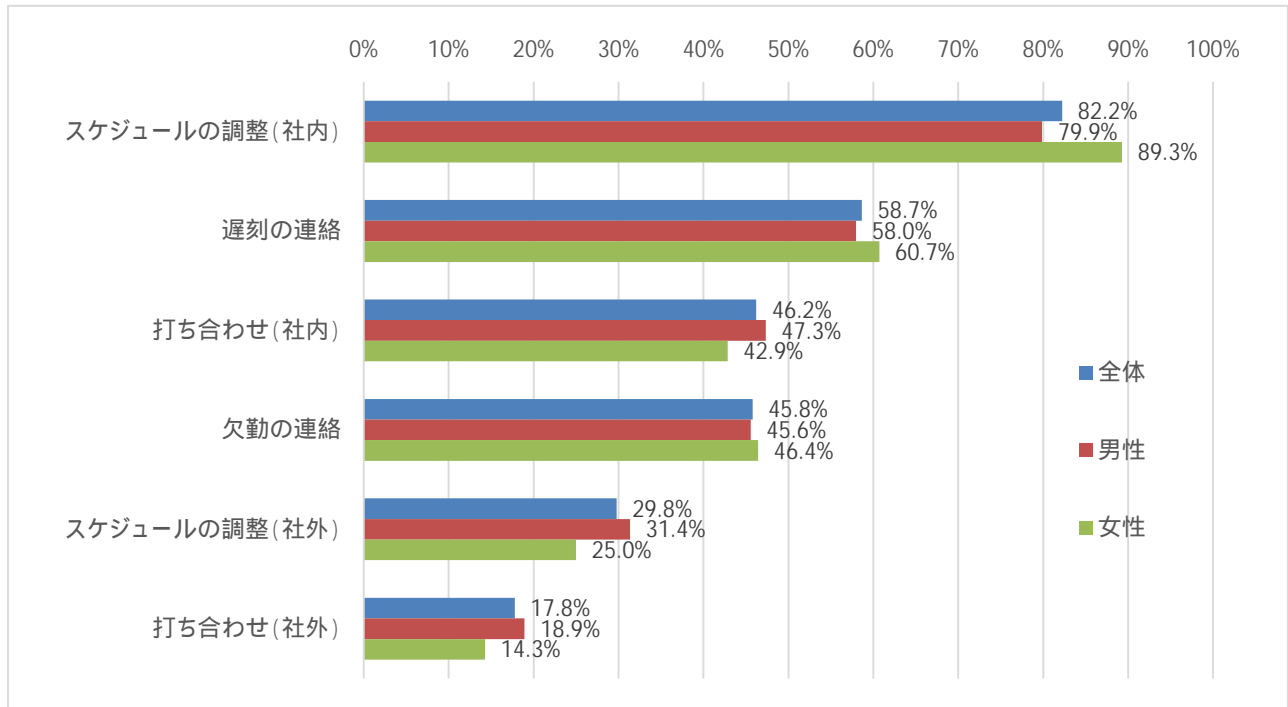
問 1 8 . L I N E などのメッセージアプリを業務でも使用したいと思いませんか？

(n=444)



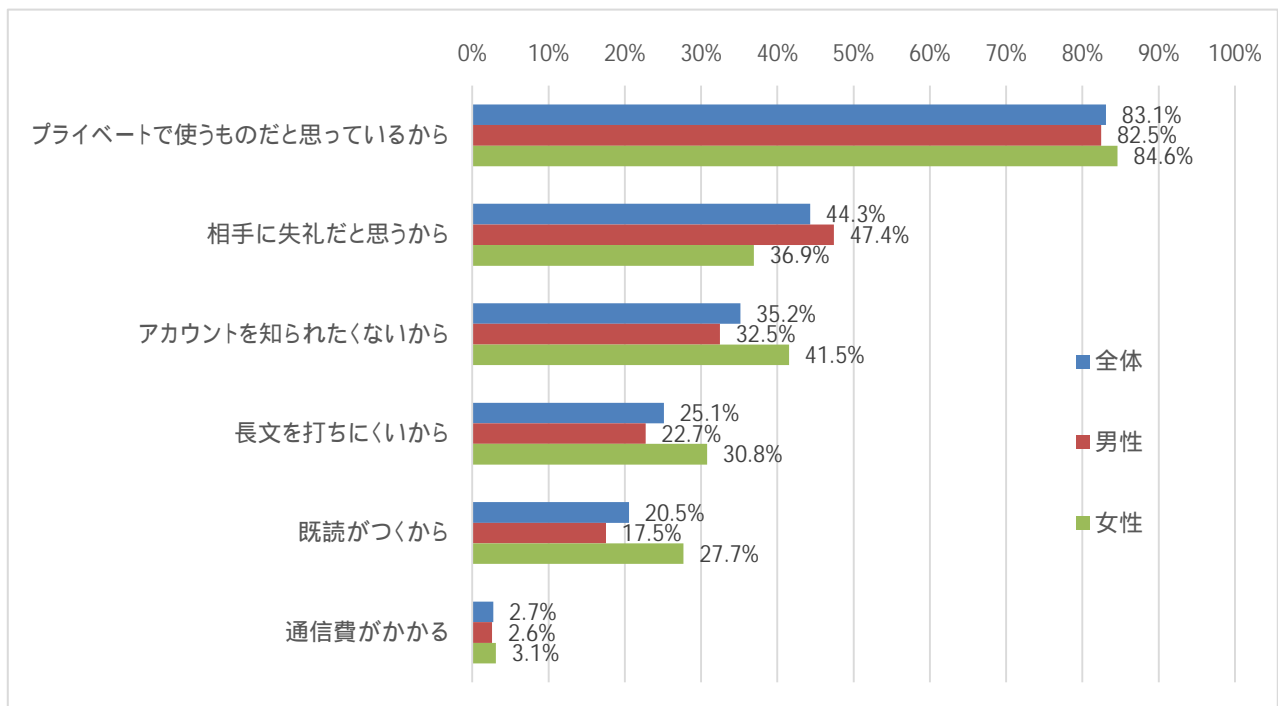
問 19 .【問 18 で「使用したい」と回答した方へ】業務上、LINE などで使用してもよいと思うものをお選びください。（複数選択）

(n=225)



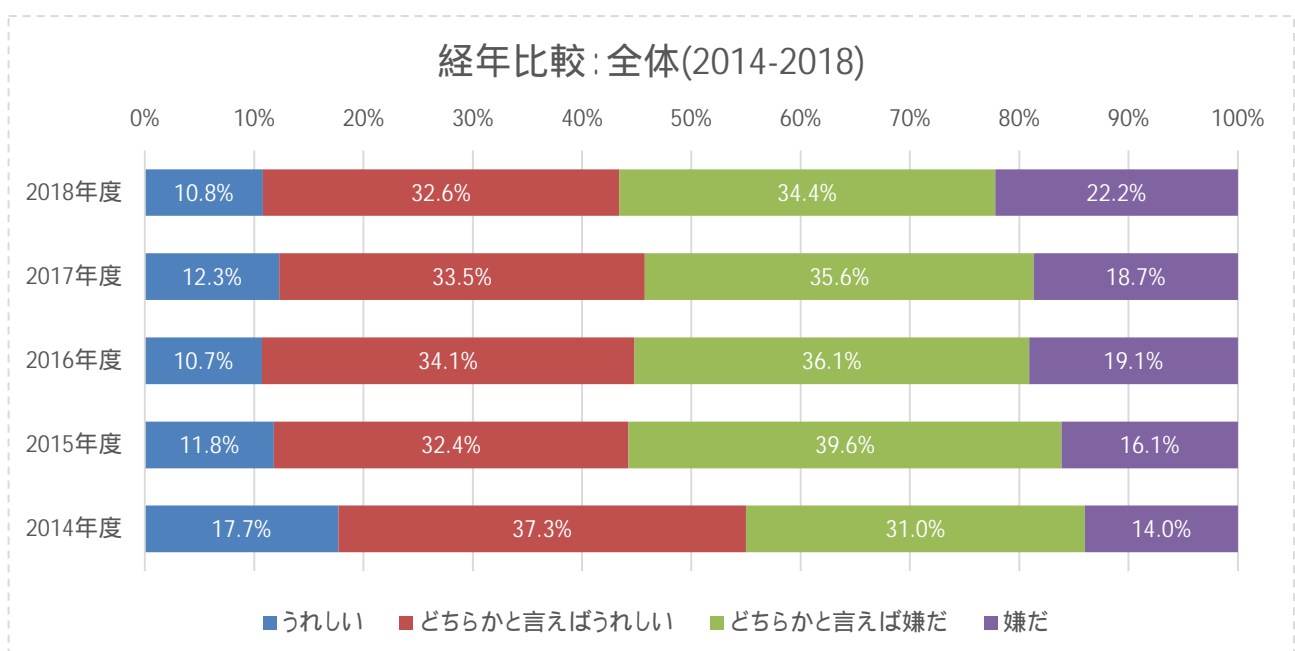
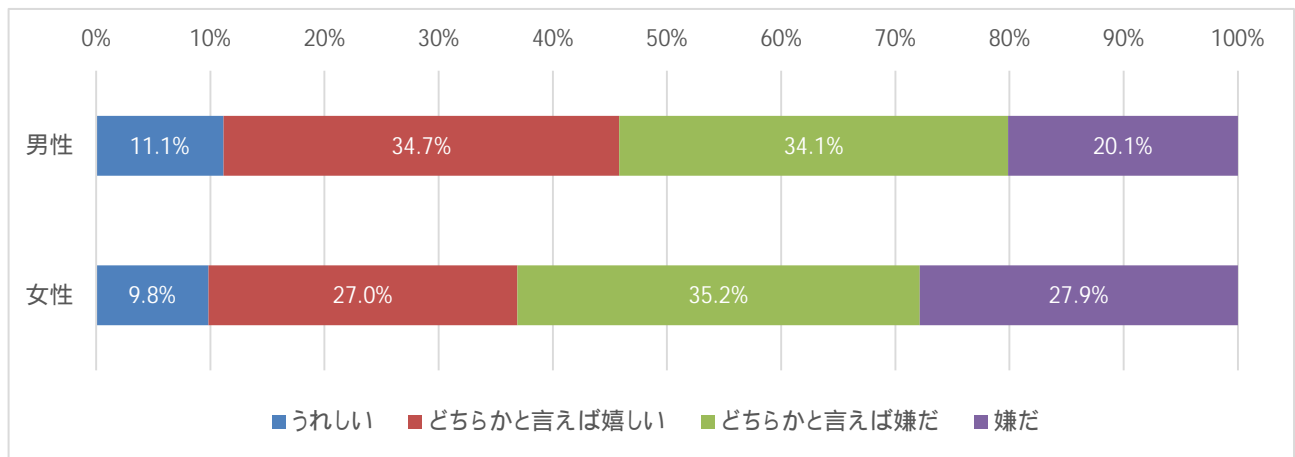
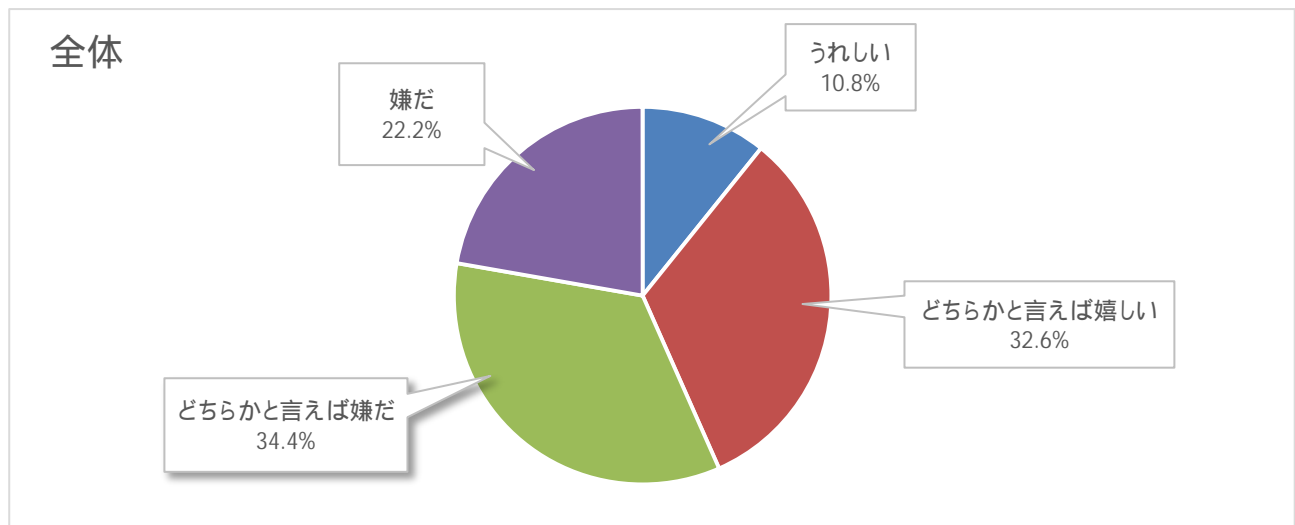
問 20 .【問 18 で「使用したくない」と回答した方へ】どのような理由で使いたくないと思いますか？（複数選択）

(n=219)



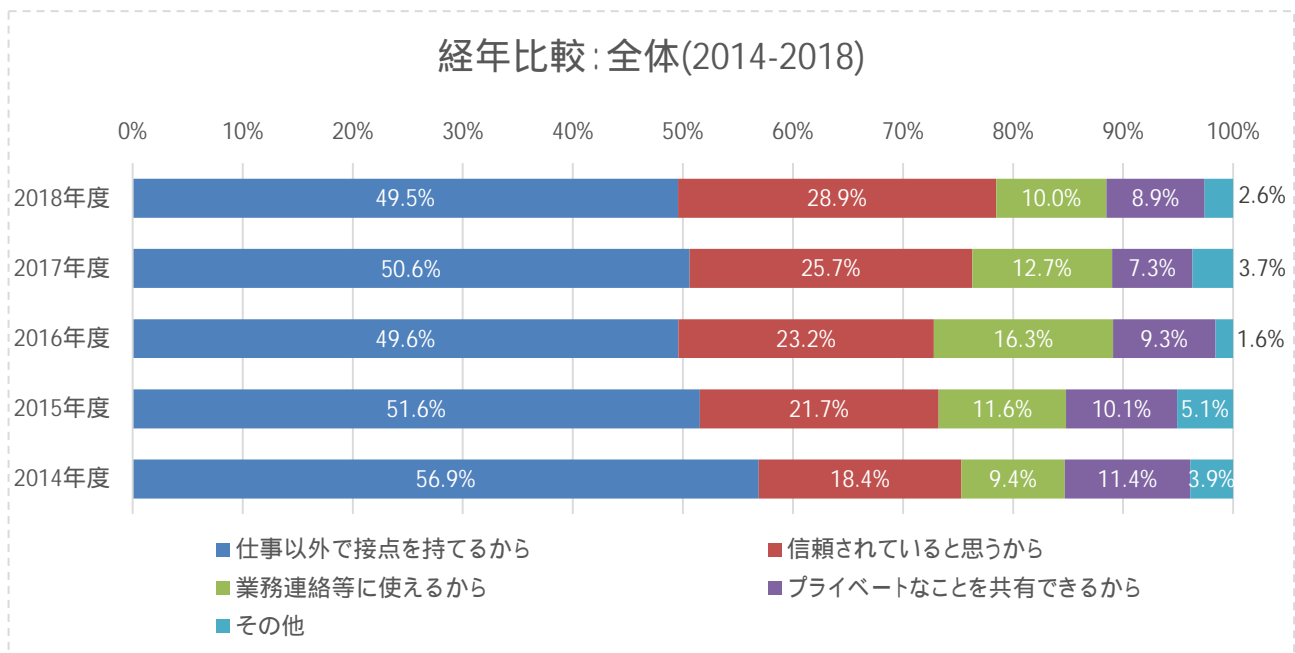
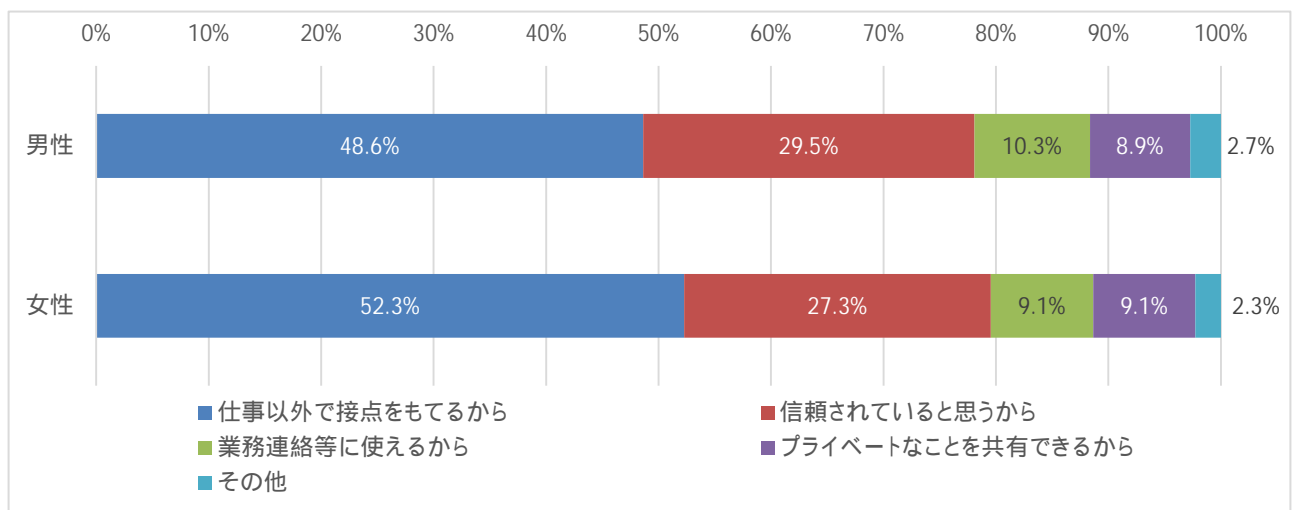
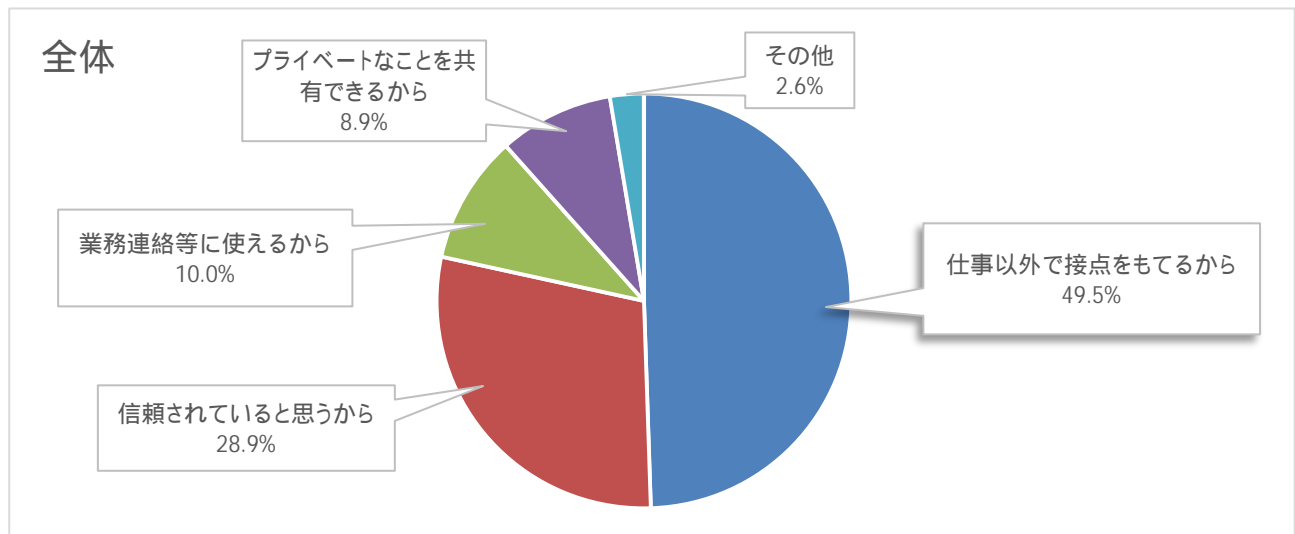
問 2 1 . あなたは会社の上司から SNS で友達申請があったらどう思いますか？

(n=445)



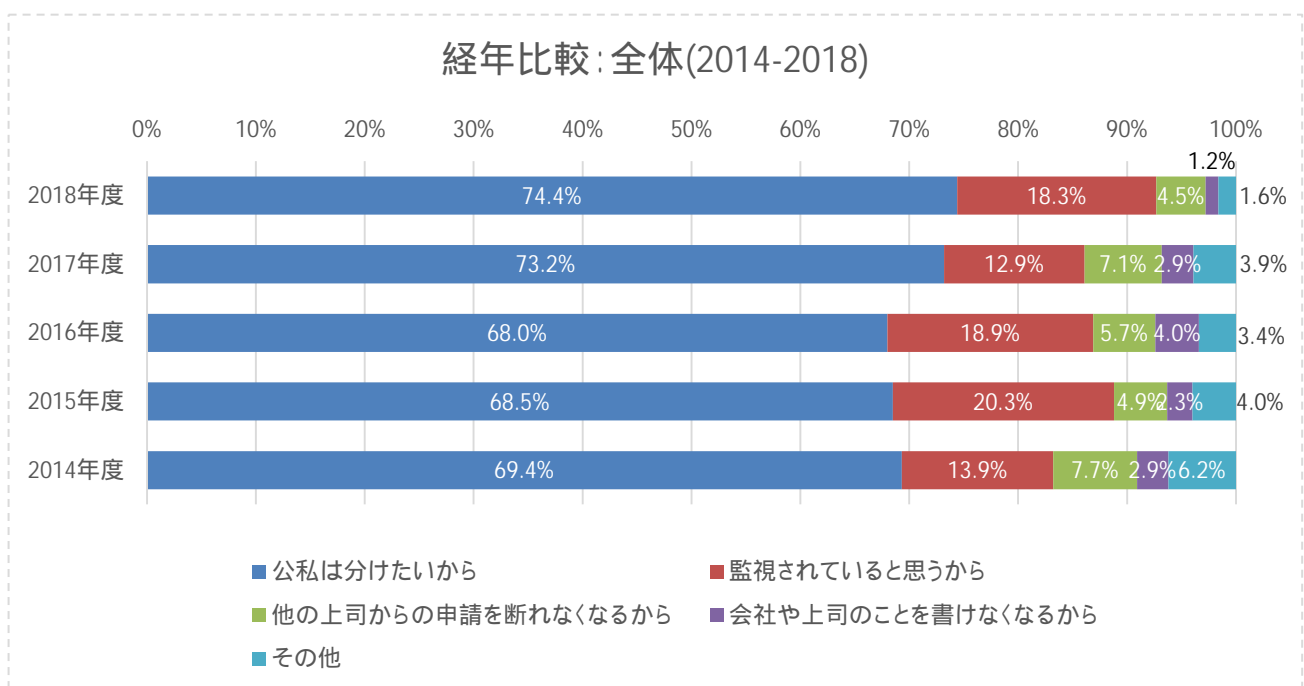
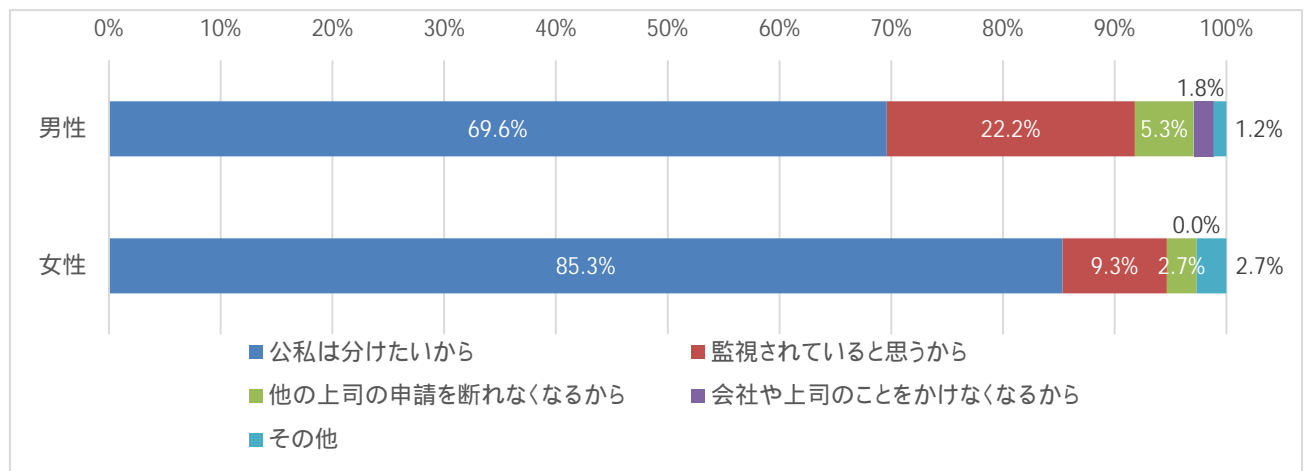
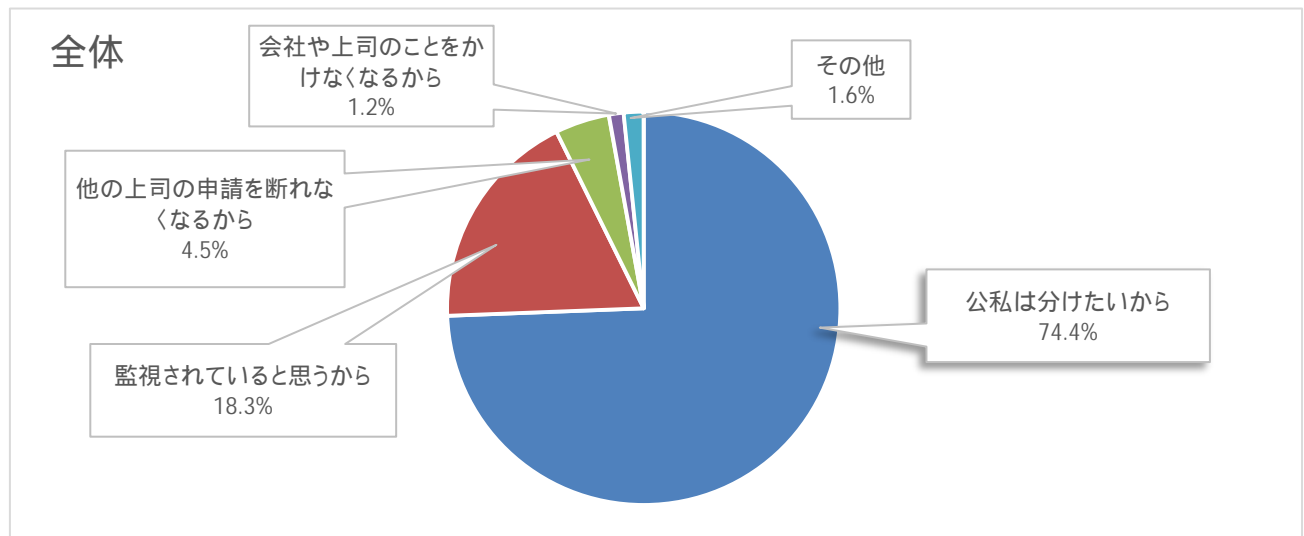
問 2 2 .【問 21 で 1 もしくは 2 と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

(n=190)



問 2 3 .【問 21 で 3 もしくは 4 と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

(n=246)



2018年度
新入社員の会社生活調査

2018年6月

学校法人産業能率大学
〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15
TEL : 03-3704-9040
(企画広報部企画広報課)
